イワナ・ヤマメにアタックする矢口先生。

フリチンの股をひらいて、大魚めがけて飛びこんだ。だが、ボクの手がそいつのうちわみたいなシッポにふれたと思ったとたん、波紋の合間を悠々と消えてゆく魚影をみおくる結果となった。……あのときの魚影はいったい何だったろう。本編に登場する〝左膳岩魚〟は、そんな少年の日の体験の産物である。

（「あとがき」より）

（カバーデザイン
日本ヘリエールアートセンター）

釣りキチ三平

第3集 イワナ釣り編

矢口高雄

KCSP 159

釣りキチ三平 3 イワナ釣り編 矢口高雄

雑誌 45423-59
ISBN4-06-101159-6
C0379 P640E (2)
講談社
P640

講談社

定価640円
(本体621円)

KCスペシャル
釣りキチ三平

1 アユ釣り編
2 フナ釣り編
3 イワナ釣り編
4 コイ釣り編
5 おもしろ釣り編
6 ヤマメ釣り編
7 謎の魚釣り編Ⅰ
8 謎の魚釣り編Ⅱ
9 イシダイ釣り編
10 コイ釣り編Ⅱ
11 ニジマス釣り編
12 ライギョ釣り編
13 イトウ釣り編Ⅰ
14 イトウ釣り編Ⅱ
15 イトウ釣り編Ⅲ
16 おもしろ釣り編Ⅱ
17 ムツゴロウ釣り編Ⅰ
18 ムツゴロウ釣り編Ⅱ
19 秘伝アユ漁編Ⅰ
20 秘伝アユ漁編Ⅱ
21 渓流釣り編
22 アカメ釣り編
23・24 フライフィッシング編Ⅰ・Ⅱ
25 怪魚釣り編
26・27・28 サーモン・ダービー編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
29・30 マス釣り編Ⅰ・Ⅱ
31・32・33 ブルーマーリン編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
34・35 キャスティング編Ⅰ・Ⅱ
36 ヘラブナ釣り編
37 アユ釣り編Ⅱ

大好評発売中!

釣りキチ三平

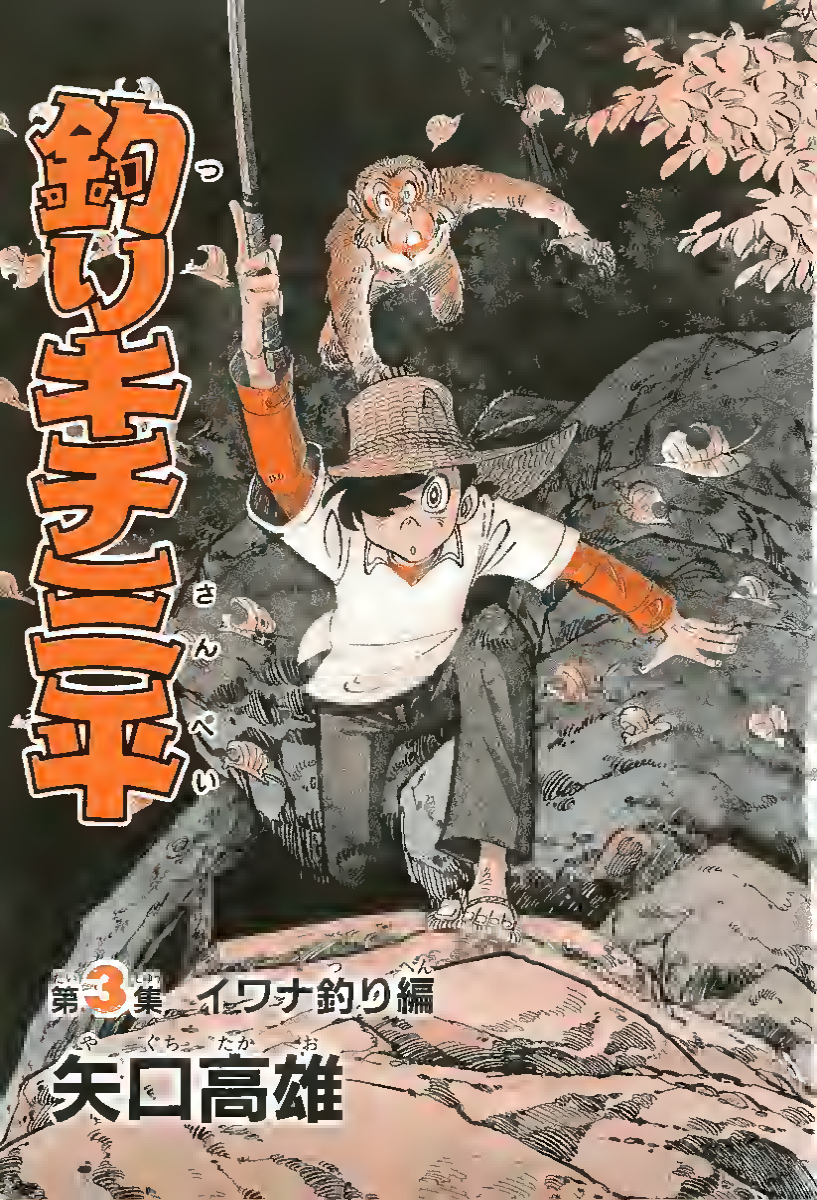
第3集　イワナ釣り編

矢口高雄

釣りキチ三平〈第3集〉イワナ釣り編

もくじ

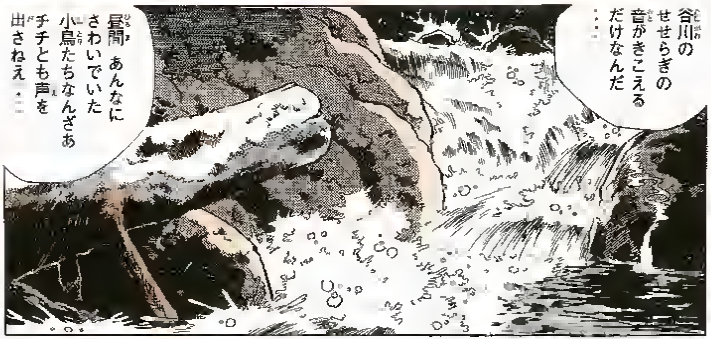
夜泣谷の怪物の巻 ……6
あとがき ……325


釣りキチ三平
第3集 イワナ釣り編
矢口高雄

岩魚は、
いくつの渓のせせらぎと
滝を見て育つ

「岩魚止めの滝だ…」
これぞ上流
魚影はない
今日の釣行は
最後の一振りに
かける期待と満足感
「生け簀に
岩魚止めの主!!」

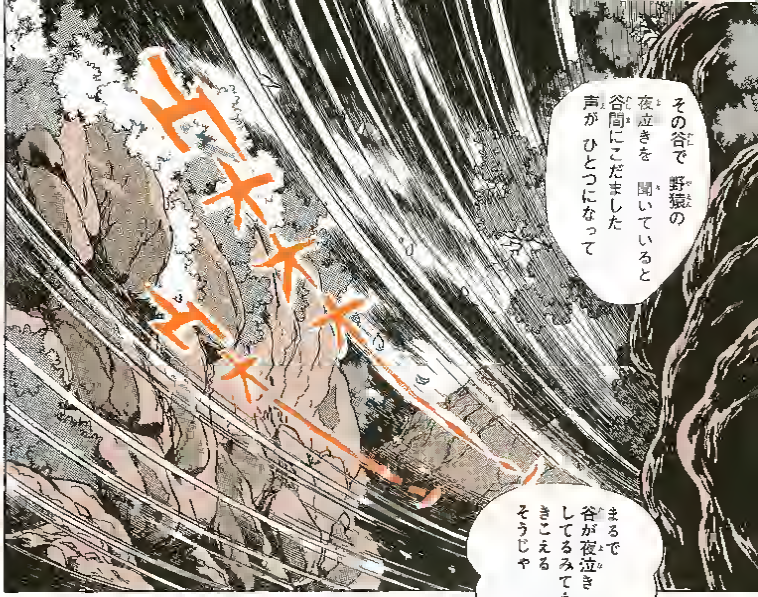
その山あいの谷間に
夜がやってくると
そりゃあ静かな
もんじゃて…

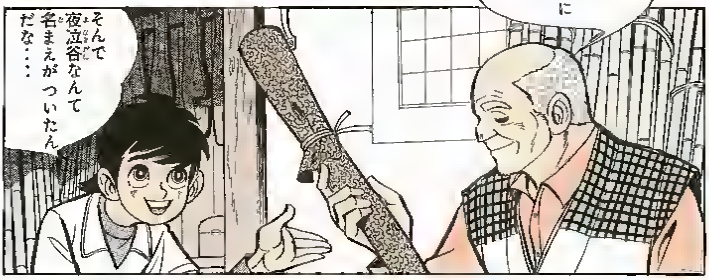

谷川の
せせらぎの
音がきこえる
だけなんだ
…
昼間、あんなに
さわいでいた
小鳥たちなんざあ
チチとも声を
出さねえ…

だいたい
烏ちゅうやつは
烏目といわれるぐれえで
とくべつなやつをのぞけば
ほとんど 夜目がきかねえ
キジなんか
たいていの場合
オスとメスが
一対となって
用心ぶかく
夜をすごすんじゃが・・・
なにしろ
こんな 深い
山のこったあ
中には 夜専門
ってやつも
いるもんだ
・・・
クンクン
クケッ
この一撃で
谷間の静寂は
やぶれて
しまうんじゃ

夜目のきかねえキジが
闇をつんざくような
はでな なき声をあげて
とびたつんじゃ
しかも
とびたつのは
きまってオスの
ほうということ
じゃ……
おそらく オスキジは
自分の悲鳴で敵の注意を
ひきつけておいて
そのあいだにメスキジを
安全なところに にがす
つもりなんじゃ
ろうな……
じゃが いったん
静寂をやぶられた
山は とたんに
ざわめきだして
くる……
クエーッ
コッホ
コッホ

一羽のキツネの声が
野猿の夜泣きを
さそったんじゃが
コッホ
コッホ
その声は
一晩じゅう泣きやまず
山々にひびきわたる
そうじゃ…
キャオオオオ
ウオオオオ
オオオオ


その谷で 野猿の
夜泣きを 聞いていると
谷間にこだました
声が ひとつになって
ホホホホーホホー
まるで
谷が夜泣き
してるみてえに
きこえる
そうじゃ


そんで
夜泣谷なんて
名まえがついたん
だな…

そのとおりじゃ
だが 最近では
その猿も
ほとんど姿を
見ることが
できなく
なったそう
じゃがな

うわ〜〜っ
話を聞いてる
だけで
ゾクゾク
してきた
なあ

その夜泣谷で炭焼きをしている銀次という男にこれをとどけてくれ
注文の呉流竿じゃ
銀次は わしの古くからの釣り友だちでな腕も立つしなかなか おもしろいやつじゃ……
道をまちがえることもあるまいがいちおう 地図を書いておいた
夜泣谷は岩魚の宝庫だから銀次につれてってもらい釣りをならうのもいいじゃろ
気イつけていけ
じいちゃん！

夜泣谷の怪物の巻

矢口高雄
矢口プロ作品

釣りキチ
三平

——というわけで
三平が夜泣谷にむかったのは
朝早くのことであった

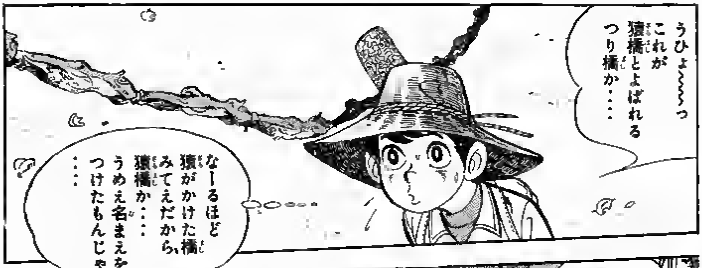
夜泣谷は
三平の家からは
かなり遠い

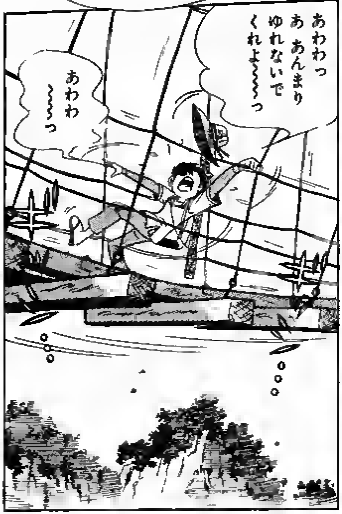
バスにゆられて
Y町までいき
そこから
さらに べつの
バスに
のりかえる

バスは谷川ぞいにすすむが
この上流に夜泣谷はある

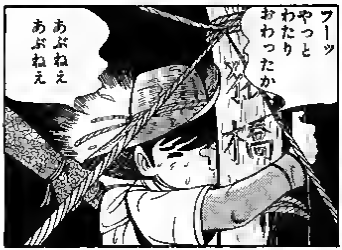
三平は
峠のふもとで
下車した

なーるほどここが入り口だな……
夜泣谷
休憩所
ここから六キロメートルか……あるいていいとこ二時間だな
6km
まあじっくりいくべ……
炭焼きをしながら毎日岩魚釣りをたのしんでるなんて……
夜泣谷の銀次ってどんな人かなあ……


うひょ〜〜〜っ
これが猿橋とよばれるつり橋か……
なーるほど猿がかけた橋みてえだから猿橋か……うめえ名まえをつけたもんじゃ……


あわわっあ あんまりゆれないでくれよ〜〜〜っ
あわわ〜〜〜っ

た 高いなあ目がくらみそうだ
こっからおちたらイチコロだべなあ


フーッやっとわたりおわったか
猿橋
あぶねえあぶねえ

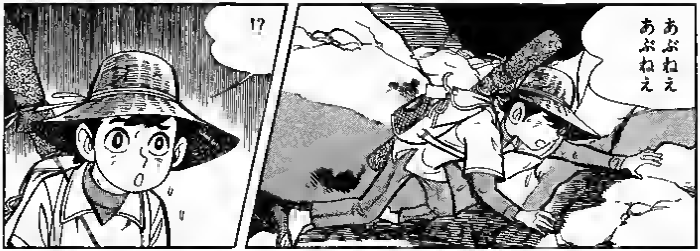
えぇと……猿橋をわたったら……
右手の道を谷川のほうにくだる……か
!?
おおあれが夜泣谷だな
なるほどこいつあすげえや
フェ～～～ッひでえやこれでも道のつもりだべか……
ガラン
ガラン

こーんな細い道をとおるなんて銀次さんって人は山猿みてえな人かもしれんぞ
ヒョイ
おおっ
!!
夜泣谷

すげえや
これじゃあまるで岩魚の釣り場だらけみてえなもんだな……

いいなあ……おらこんなとこ見るとなんだかひとりでにうれしくなってわらいたくなってくるんだなあ……へへへへへ

おらってだめだなあ……
魚のいそうなところを見るとなにもかもわすれちゃうんだからなあケッヘヘヘ
とにかくしいちゃんのいいつけの竿をとどけることがさきだ
ハッ
ヒッ
ホッ
あわっ
ハレッ!!
ケッヘヘ調子にのりすぎた


あぶねえ
あぶねえ
!?

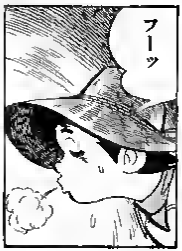
なんだい
ありゃあ
……

ケヌキじゃ
ねえか……
のんきなもんだ
水なんか
のんでやがる
おどかしちゃ
わりいから
のみおわるまで
まってるべ……
ン!?

ギャー
ズボッ
ズボッ
ズボッ

おおっ!!
い 岩魚がタヌキを水の中さひきずりこむなんて
こ こんなバカなことがあるのけえ!!

ガブッ


フーッ

ここりゃあすんごいなあ…

おい
ワッパ（子ども）
そんだところで
なにしてる

ああっ
いいまここで
水をのみにきた
タヌキの
鼻ッツラに
岩魚がかみ
ついて
水ん中さ
ひきずり
こんだだ
!!

カハハハ
ワッパ!!
そんだこと
ぐれえで
びっくらこいて
どうする…
この夜泣谷じゃ
しょっちゅう
あることじゃ

もしかして
おじさんは
炭焼きの
銀次さんで
ねえだか

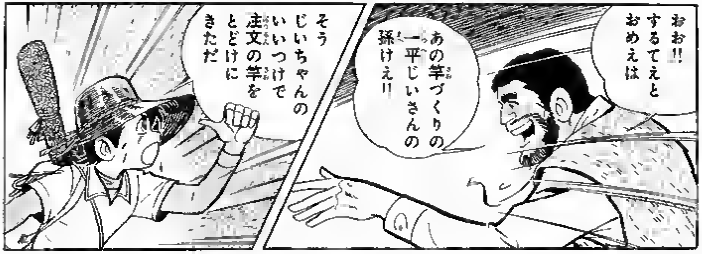
いい気になって
釣り竿なんか
しょっかけて
いるども
ここは
ワッパのくる
ところじゃねえ
けえれ けえれ

ビ
ん!?

なんじゃとオ
ワッパ……
おめえ
どうして
おらの名まえを
知ってるだ

炭焼きの銀次はからだがそれがどうしただ
やっぱしそうだったのけえ

こーんなとこで会うなんてびっくらこいたなあ…
ワッパばかになれなれしいじゃねえか
おらおめえみてえなワッパに知りあいばもったおぼえはねえぞ…ワッパ
ワッパワッパっていわねえでくれ!!
おらの名まえは三平…三平三平っていうちゃんとした名まえがあるだ!!
…ン!?ミヒラサンペイ…
ハテ
ム


おお!!
するてえと
おめえは
あの竿づくりの
一平じいさんの
孫けえ!!
そう
じいちゃんの
いいつけで
正文の竿を
とどけに
きただ

ガハハハ
そうだった
のけえ
こいつあ
いけねえや
ケッヘヘヘ
ごめん
ごめん

どれどれ
きっそく
見せてくれ

ホホウ
こいつか
あわっ
あたっ
ドテ
ん〜〜ッ
おらあ
がぜん 気分が わりいぞ
わざわざ
こんな山奥
まできて
のっけから
こんなめに
あうなんて
まあ そう
おこるなて
ワッパ
キビ
ワッパじゃ
ねえ
三平じゃ
ホッ
ケッへへ・・・
カラキビのいい
(気分のスカッと
した) ワッパ
じゃなあ・・・

クックック
一平のやつ
どんな竿を
つくり
おったんだ
おれの走文に
ちがってたら
たたき
かえして
やるから
ガハッ
ここいっちゃ
印籠継ぎじゃ
ねえか
クソオ おらは
並継ぎで
いいちゅうたのに
しゃれた
まねをしおって
印籠継きなんかに
してよこしたか
カーッ
クソオ
あいかわらず
一平じいさん
いい腕を
しとるて・・・
継ぎ音が
キュルッとも
しねえで
すいこまれる
ように
はまりおった

矢口釣りコーナー

継ぎ竿は長い一本の竹竿（のべ竿）を切って、もちはこびにべんりなようにつくったもの

今週の釣りコーナーは竿についてやってみよう

並継ぎ

印籠継ぎ

印籠（腰にさげる薬入れ）のように継ぎ目が目だたない高級品

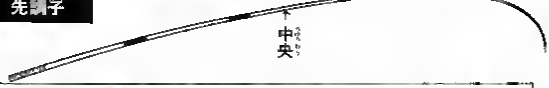
振りだし式（グラス ロッド）

竿がかたいとかやわらかいということばをよく耳にするが これを竿の調子とよんでいて 竿をえらぶとき とても たいせつなことだ 調子には大別して つぎの二種類がある

先調子

竿の中央より先端のほうがやわらかく 弾力のあるもので エサ釣りに適している また 振りやすく あわせやすいから初心者もきである

胴調子



竿の中央を起点として全体によくしなる竿で 毛バリ釣りなどに適しているが 大ものがかかったとき 初心者はぬきあけるのに むずかしい

いつまで
ふくれっつら
してるだ
男わらしは
サッパリ
するもんじゃ
ヒョッ
こりゃ
どこさ
いく
ムギュッ

おわわっ

ちょっくら
かえりの
したくばする
から ここで
やすんでろ

ポケー

フフフフ…
こいつきぇ手にはいれば鬼に金棒じゃて…

さ!!ワッパ
おっとじゃなかったな…三平くん!!いくべ

きまってるでねえか…おらの炭焼き小屋だ

ど どこさいくだ

しんぺえ
するこたあ
ねえて
おめえの
ことは
一平じいさん
から
よく
たのまれて
いるからな
じいちゃんに
たのまれてる
だと……!?
そうよ
なまいきに
おめえ
岩魚釣りが
してえんだってな
は……
はあ
まあ
この夜叉谷さ
きたからにゃ
安心して
みんな おらさ
まかしとけ
ビシッと
しごいて
やっからな
ガハハハ

なるほど
そういうわけだったのか
どうりでじいちゃんたらたいした用もねえくせにおらにいけいけっていうもんだからヘンだなあと思ってたんだ
へへッ

フフフ
ついてきたな
三平くん

こらなんとかいわんかい!!
へへへ……
こいつうげんきなヤツじゃなあ
釣りの話をしたら目をキラキラかがやかせてやがるて…
ガハハハハうわさにたがわぬ釣りキチじゃ
へへへ

ようし おらおめえのその目がしこたま気にいったぞ!!
きょうからさっそくしごきを開始する
おじさん!! おじさんもツラはおっかねえツラだども目のほうはやさしそうな目をしてるなや…
そうけえそんただやさしい目をしてるか
そうかなあ
んだども口はそうとうわりいぞ
ガラッ
いいにくいことをズケズケとこのう!!
んだって口のわりい人は心がきれいだっていうでねえか
ようしますます気にいったおらのとっておきのアナ場につれてってやるぞ
カハハ

ハハハ
ハア
ハア
ハア
おっ
ここが
炭焼き
小屋か
へえーっ
これが
炭窯って
やつだな
できあがった
炭を俵に
つめたものか
……
あっ

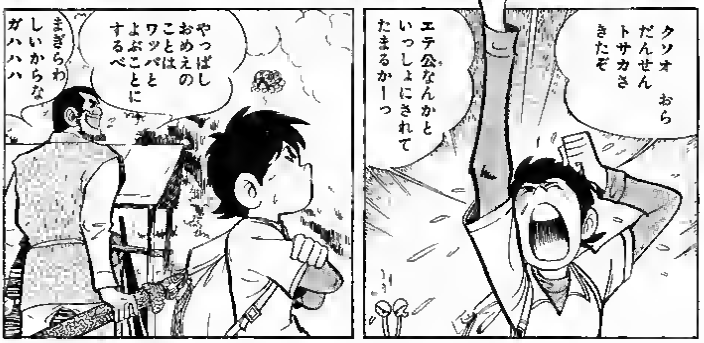
うわ〜〜〜っ
さ猿だ——っ
たたすけてくれ〜〜ッ
ウェーン
うひゃ〜〜〜っ
ガハハやられとるなやつよ……
いたずらな
こらっサンペイやめんか!!
そのワッパはおらのお客さんだぞ!!
やめろってばサンペイ!!

あちちっ
サンペイ
やめんかい!!
!!
コッホ
コッホ
あわわわわ〜〜〜っ
キキッ
サンペイ
おめえって
やつは
どうして
そんな
いたずらっこ
なんでえ
フェ〜〜〜ッ
おじさん
へんないいがかり
やめてくれ
おらなに
わるいこと
したてえだ
さ猿がそこの木の上からいきなり
お!!
けがはねえかな

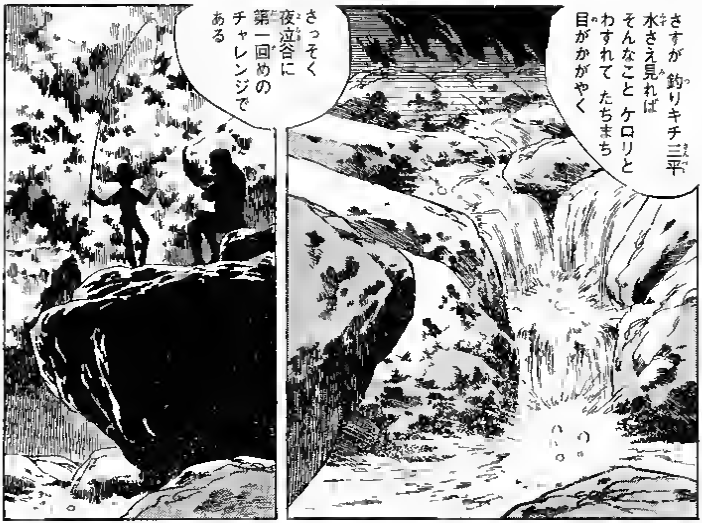
おおおじさん
そそいつだ
その猿だ
!!
ガハハハハ
こいつはな
サンペイと
いって
いつも
おらと
いっしょに
くらしてる
エテ公じゃて
えぇっ
サンペイ
だとお
・・・
そんじゃ
おらとおなじ
名まえけえ
まあ・・・
そういう
ことじゃな
キャッ
キャッ
あう!!
くそーっ
こらーっ
かえせーっ
キャッ
キャッ

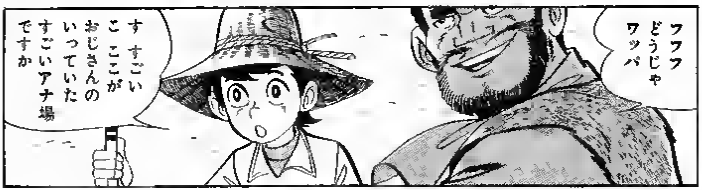
ちっくしょう
エテ公なんかになめられてたまるかーっ
へ～
ン
クン
もういたずらはやめれ!!
サンペイ!!

ブハーッ
どっちも同時にふりかえるとはこりゃまたケッサクだ
おめえたちはどっちもサンペイだもんなガハハハ…


クソオ おらだんせんトサカさきたぞ
エテ公なんかといっしょにされてたまるかーっ
やっぱしおめえのことはワッパとよぶことにするべ
まぎらわしいからなガハハハ

ヒュ
キッ
ハーロー!!
キキッ
炭焼きの銀次が
飼っていた猿の名まえが
サンペイとは…
三平三平にとっては
まことにめいわくであり
しゃくのタネであった
…だが

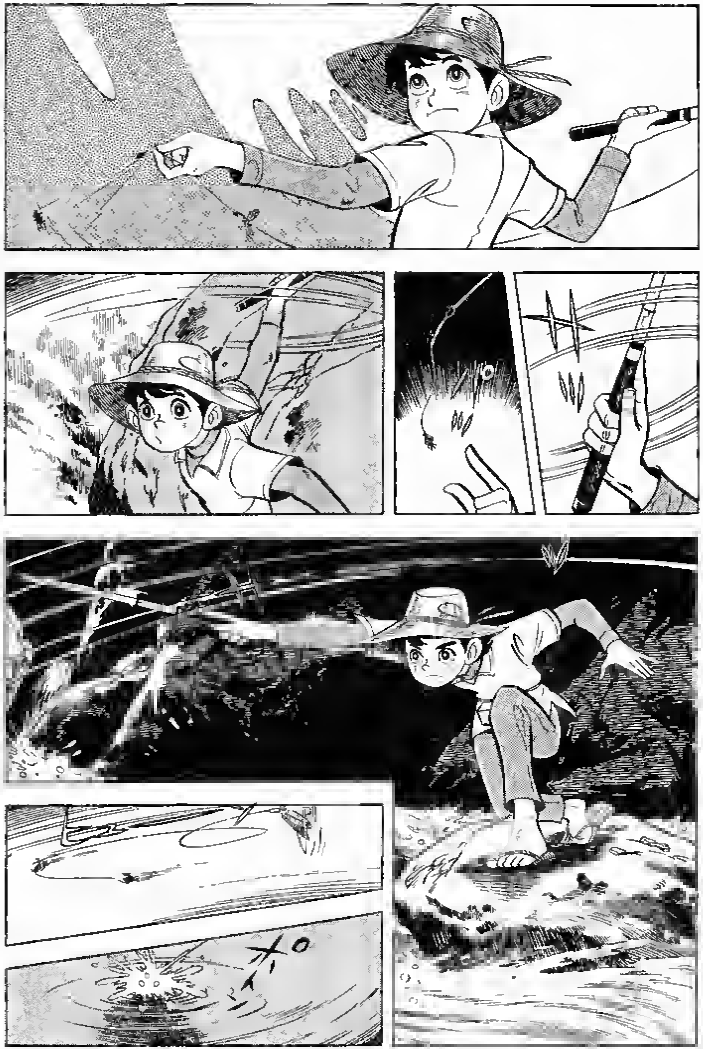

さすが釣りキチ三平
水さえ見れば
そんなこと ケロリと
わすれて たちまち
目がかがやく
さっそく
夜泣谷に
第一回めの
チャレンジで
ある


フフフ
どうじゃ
ワッパ
すごい
ここが
おじさんの
いっていた
すごいアナ場
ですか

そう
かんたんには
教えられん
まず おめえの
腕のていどを
見てからだ
したくが
できたら
自由に
やってみろ!!
はあ
よーし

ワッパめ
岩魚釣りを
いちおうは
知ってる
みてえだな
岩魚に
気づかれねえ
ように
大岩のカゲから
しのびよる
ところなんざあ
まんざらの
しろうとでは
ねえ

さすが一平
じいさんの
孫だな……
よし!!



ムッ
ニヤ

ウヒョッ
ホホウ
中型だな
ゴボウ抜きに
あげれば
まずまずと
いうところだ

アトツ
そのていどの
もので
いい気に
なるでねえ

んだども
かんぜんに
尺上(三〇センチ
以上)はあるぜ
カーッ
そんなもん
この夜泣谷じゃ
メダカみてえな
もんよ

そんな
でかいやつが
いるんですか

でかいのなんのって
そのていどのもんに
びっくらこいてる
ようだと
ヤツを見たら
腰をぬかして
しまうべ
ガハハハ

まあ
いずれ
会わせて
やるがな
…

ヤツに会った
ところで
おめえなんかに
釣れるもんでも
あるめえ

このおらでさえ
ヤツにはホトホト
手をやいてる
からな

そんただこと
聞くと……
おらあ……
はりきっ
ちゃう
なや!!

ワッパ
ナマいうでねえ
おめえの腕の
ほどは
だいたい
わかった
もうちっと
むずかしい
釣り場さ
うつるべ
へへへ

キキ――
キ――ッ
ムッ
サンペイ!!
ハア
なにか
用だスか

カー
また あの
エテ公!!

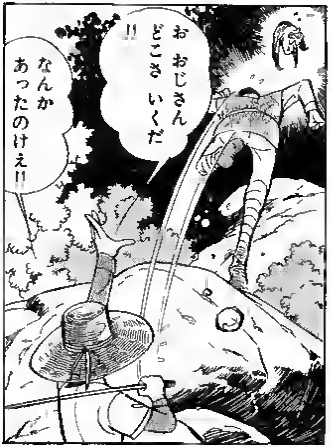
キキーッ
コッホ
コッホ

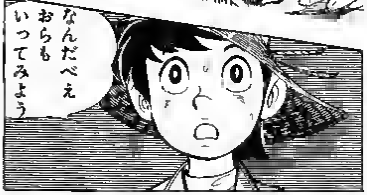
クソオ!!
しつこい
れんじゅう
だ

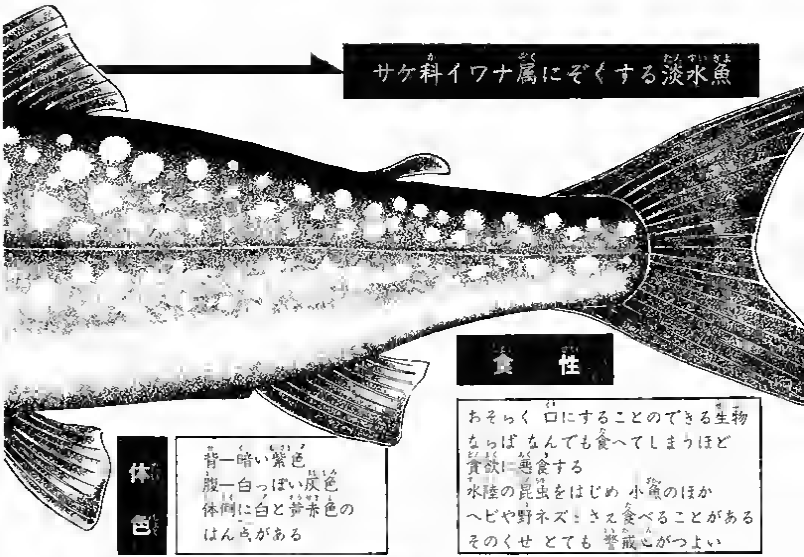
よし
わかったぞ
サンペイ
いま すぐ
いく!!

サンペイ
いくぞ!!

きょうという
きょうは
徹底的に
こらしめて
やるぞっ
この夜泣谷を
てめえらのかってに
されて たまるか


おじさん
どこさ いくだ
!!
なんか
あったのけえ!!


なんだべえ
おらも
いってみよう



サケ科イワナ属にぞくする淡水魚

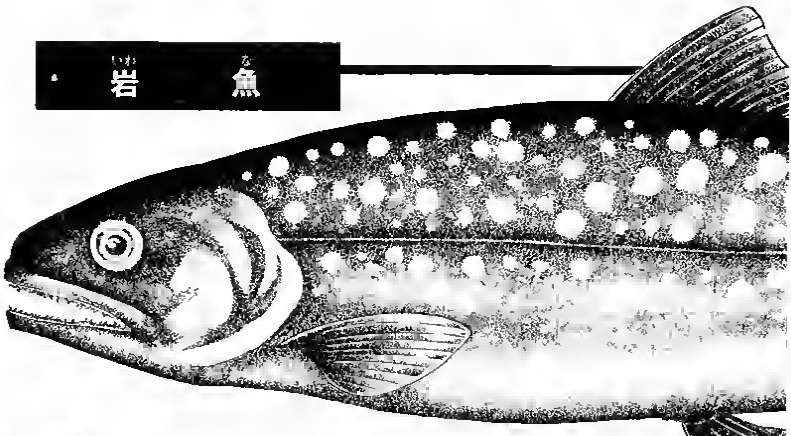
食性

おそらく口にすることのできる生物
ならば なんでも食べてしまうほど
貪欲に悪食する
水陸の昆虫をはじめ 小魚のほか
ヘビや野ネズミさえ食べることがある
そのくせ とても警戒心がつよい

体色

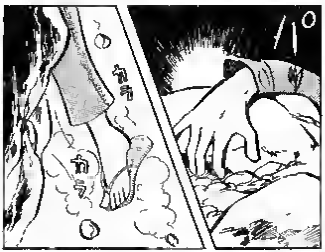
背―暗い紫色
腹―白っぽい灰色
体側に白と黄赤色の
はんてんがある

岩魚

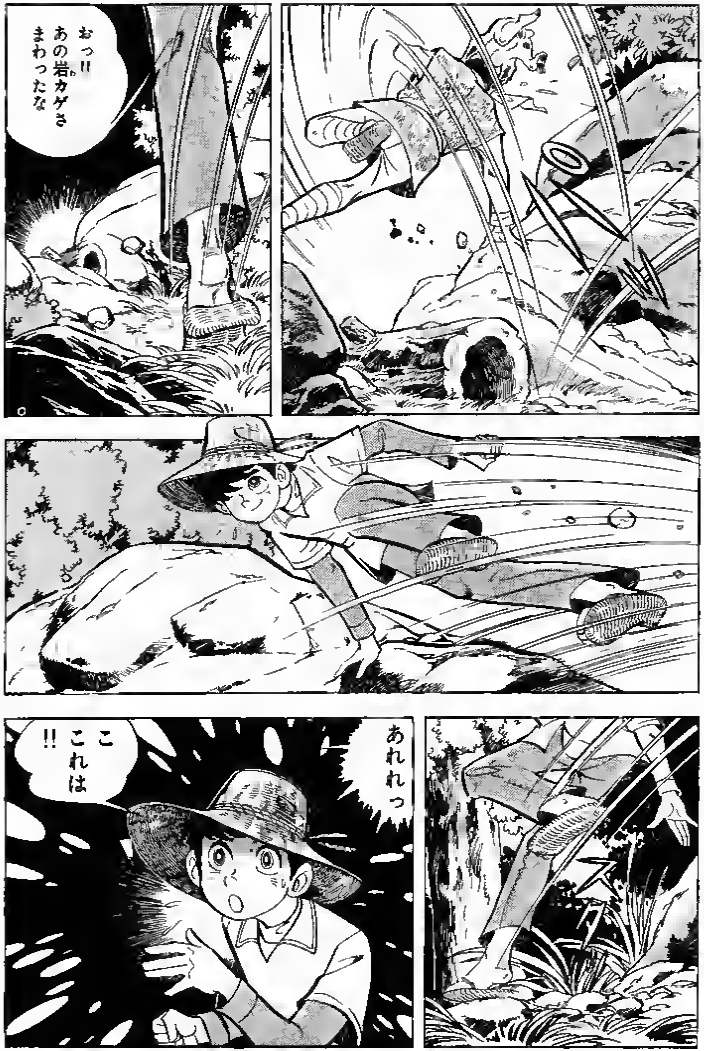


習性

わが国でもっとも標高の高い渓流にすむ魚で
つめたい清流をこのみ 直射日光をきらう性質がある
そのため 昼でも暗いほどの谷川の滝つぼや
淵 大石のかげなどに生息する



クソオ
きょうというきょうは徹底的にカタをつけてやるう!!
てめえらにこの夜泣谷をかってにいじくりまわされてたまるけえ!!
キキーッ


おっ!!
あの岩カゲさ
まわったな
あれれっ
こ
これは
!!

ハンタイ
反対
なんでえ
夜泣谷ダム建設反対
立入禁止
ワッパおめえついてきたのけえ!!
ハレッ
夜泣谷ダム建設反対……
すするとこの夜泣谷にダムができるのか……

銀次さーん
キキーッ
だれが ついて こいといった!! だまって 釣りを つづけてろ
反対

そ そんな
おじさんは
さっき
三平(さんぺい)
いくぞって
いったでねえか
バカ
サンペイは
こいつの
ことじゃ
まぎらわ
しいんだ
よ～～～っ
エテ公(こう)と
おなじ
名(な)まえだなんて
く～～～っ
しょうがねえ
あがってこいっ
そんな
ところで
ウロチョロされちゃ
こまるからな
なわばしご
かあ…
キキーッ
クソオ
しゃくだなあ
あのエテ公(こう)め
…

フェーッ
高いなあ
よく こんな
とこさ
小屋がつくれた
もんだ
なわばしご
を
早く
ひきあげろ
おじさん
夜泣谷に
ダムが
できるって
ほんとけえ
うーん
まだ当局では
検討の段階だと
いうことじゃが
もう何回も
測量隊が
この谷さ きてる
からな…
もう
そろそろ
くるころじゃて
フフフ…
すると
おじさんが
あわてて
かけてきたのは
その測量の
人たちが
くるからか
そうよ
この夜泣谷に
ダムなんか
つくられて
たまるけえ!!
断固粉砕して
やるうっ!!
ギヒヒヒヒ

おじさんはどうしてそのダムに反対するの

そんただごとかんたんじゃねえか

岩魚釣りができなくなるからじゃ……

ポイ

そ そんなムチャな

ムチャでもなんでもいいダムができりゃあの夜泣谷はダムの底じゃ……そうなったら岩魚釣りどころでねえべ

おらあ岩魚さえ釣れればそれでいいだ

食糧

あれ おじさんこんなとこさテグスなんか張ってるがなんスか……？

こらっ それにさわっちゃいかんぞ!!

必勝鉢巻

あんましちょこまかしねえでしずかにしてろもう 測量隊が到着するころじゃからな……

イ〜〜〜ッ

ウキキッ
バァ

バーカ
しずかにしろ
あそびじゃねえ
んだぞ!!

ウキキッ

まだ
見えま
せんか
しずかに
しろて

しゅん

おめえ このマンガに ちょくちょく 出るども いってえ 何者だい
ンまあ あたいに声を かけてくれたの 三平ちゃんが はじめてよ うれしいわ～～～ン
でも あたい まだ名まえが ないのよ～～～ン
よよ
少年マガジンの 読者が カッチョいい 名まえを つけて くださらない かしら～～～ン
な 名まえを つけるったって おめえ
目ン玉 だけじゃ つけようが ないじゃ ないか
もっと その下を 見せろよ
え？
イヤ～～～ン バカ～～～ン 三ちゃんの エッチ!!
イテテッ
あたい こまっちゃう わ～～～ン
ちょっと だけ よ～～～ン
矢ロ～っ ヒョーロク玉～っ なんてことを かくんだ～っ
ちょっと 目をはなすと ロクなまねを しない!! とっとと ストーリーを つづけろ～っ
少年マガジン 記者
ウヒョ～～～ン みなさ～ん いまさえつけて いますぬ～っ

銀次の小屋が見えてきたぞ
足もとに注意しろなにがとび出すかわかったもんじゃないからな
ハンター

課長
これが
炭焼きの
銀次が
たてこもってる
小屋です
なるほど
うわさ
以上だな
だが
銀次といえども
人間だ
話せば わかって
もらえるだろう
さあ…
課長が
おっしゃるように
かんたんにいけば
いいんですが
ガハハハハ
おめえら
また きたな
待ってたぜ
うっ
タイ
きょうは
課長さんと
やらが
くっついてきた
ようじゃが
だれが
こようと
おなじじゃ
けえれ
けえれっ!!
ぎ
き
銀次!!
ささま

死んだネズミだーっ
あわ
ホレホレいわんこっちゃねえだろう
その線より内さくるなといったはずだ
ハハーンこのテグスはそんなしかけになってたのけえ
ううっさすが銀次は岩魚釣りの名人だと聞いたがテグスをつかってのいやがらせか
課長もうすこしうしろへさがってくださいそのほうが安全です
オエ～
ガハハハさあこんなのは序ノ口じゃこんどはなにがとびだすやら
腰でもぬかさねえうちにけえったほうが身のためだぜ

銀次さん
そんな乱暴は
よせ
おたがい
男どうしだ
話せば
わかるだろう
話す必要
なんか ハナモ
ほどもねえ!!
まあ
そう どならんと
おだやかに
話そう
この夜泣谷は
水量がきわめて
豊富なうえ
谷川をはさむ
両側の山が
切りたっていて
ダムをつくるのに
こんな条件の
そろったところは
ないのです
そんただこと
耳さタコができる
ぐれえ 聞いてるて
バカバカしい…
このダムは
水力発電のほか
水田の灌漑用水
など おおくの
利用価値が
あるのです
われわれとしては
ぜひ このダムを
つくりたい

それにこの夜泣谷ダムが実現すれば場所が場所だけに湖底に埋没する人家や田畑がまったくないという
全国でもきわめてぎせいのすくないのケースなのです
なにとぞご協力ください

なんじゃとオぎせい者がいねえだと

ガハハわらわせるなここにれっきとしたぎせい者がひとりいるてねえか
こむずかしいことばをならべたてて おらをごまかそうってんだろうがそうはいかねえ

しかしあんたのダムに対する反対理由は
岩魚釣りができなくなるからだそうじゃないですか
反対

そうじゃそれがどうした
それこそ額ぶち入れてもはずかしくねえりっぱな理由でねえか

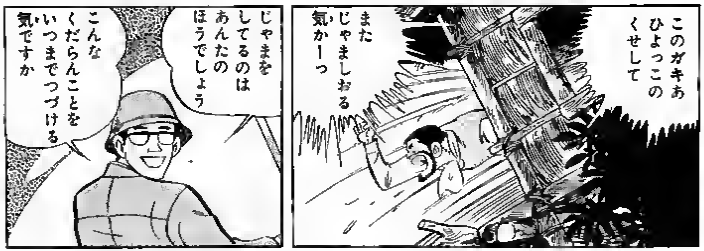
か課長銀次はいいつもこの調子なんですぼくはもうハラがたって…
ウーム
あまりにも聞きわけのないガンコな男だなあ
そそうなんスよ…
たかが雑魚釣りじゃないスかねえ課長!!
なんだとオ!!いまなんといった
たかが雑魚釣りだとオこのアホンダラ
ひ〜〜〜っ
てめえらみてえな石頭のボンクラどもにゃなにいっても話にならん!!
これでもくらってとっととけえれ!!
ああっ

マ
マムシ
だ～～っ

あわわ〜〜〜っ
ブルウー
ドゲー
ヨウスギ
ナンキ
ギャヒ
〜〜〜ッ
た たすけて
くれ〜〜〜っ
腰がいうこと
きかーん

ガハハハハ
どうじゃ
これでも
ダムをつくる
気があるんなら
なんとでも
きやがれ!!
あだだっ
あわ

ムッ


このガキぁ
ひょっこの
くせして
また
じゃましおる
気かーっ
じゃまを
してるのは
あんたの
ほうでしょう
こんな
くだらんことを
いつまでつづける
気ですか

ヌヌッ
子ども
みてえだと
いわして
おけば
このガキあ

もう
こんなことは
いいかげんに
やめてください
こんな子ども
みたいなことが
通用すると
思ったら
大まちがいですよ

フンガフンガ
きょうは
ひとまず
退散
しましょう

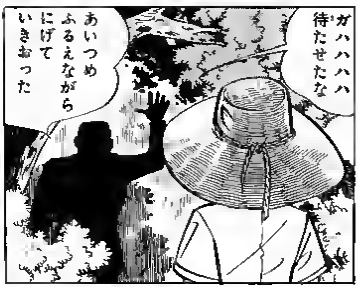
課長
だいじょうぶ
ですか

すまん
黒沢くん
きみのおかげで
たすかったよ

あの
男は
ぼくに
まかして
ください

クソオ
待ちやがれ――っ
まだケツの青味もとれねえサンピンのくせしやがって
こなまいきな口をききやがるうっ!!
てめえみてえなハナタレ小僧なんか
もみくちゃにしてハナでもかんでぶっとばしてやるからそう思えっ
反対

おらあ びっくらこいたなあ…
岩魚釣りをするために
ダム建設に反対するなんて…
銀次という男は
ケタはずれの釣りキチだなや…
それにしても
あの若い男のひとは
ちっとも銀次さんを
こわがらねえ
勇気のあるひとだなあ


ガハハハハ
待たせたな
あいつめ
ふるえながら
にげていきおった

ワッパとんだ じゃまがはいってすまなかった
さあ 釣りのつづきをやるべ

こうなったら四の五のといってられねえなあ…

おらのとっておきのアナ場さ案内するべ
夜泣谷の怪物のすみ家さな…

どうじゃ
ここが 怪物の
すんでる 淵じゃ
ウヒョ〜〜〜ッ
すすげえ
この淵は
鳴神淵ちゅうて
夜泣谷のなかじゃ
いちばん でかい
淵じゃ

な 鳴神淵
……!!
ここさ
そ そのの
どえらい怪物
がいるん
ですね

ど
どのぐれえの
でかさだべえ

ウエーッ
怪物だ!!
ふつう
岩魚といったら
せいぜい
三～四〇センチ
ぐれえしかねえか

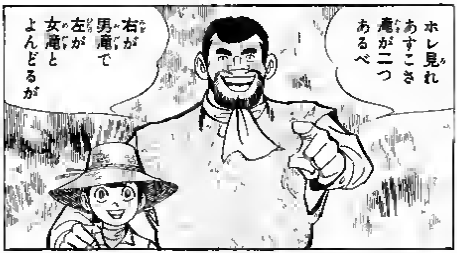
んだな
……
このぐれえは
ゆうにあるべ
まさに
怪物じゃ

まあ一般的には
そうじゃが
人間だって栄養の
あるものを食えば
大きくなるべ……
魚だって
そういうことが
あるんで
ねえかな
この夜泣谷は
岩魚にとっちゃ
やたらと食い物が
豊富なところ
じゃから……
それに……こんただ
山奥のことじゃから
もしかして一生人間の
目にもふれねえで
そだった岩魚の中にゃ
怪物みてえに でかく
なったヤツがいても
ふしぎじゃあるめえ

そんただ
てっけえん
だったら
泳ぐ姿が
こっからでも
見えるへ

あいさ
ヤツが
泳ぐ姿は
まっこと
怪物らしく
ゆうゆうたる
もんじゃて
……

じゃが……
みょうな
ことに……
ここ二か月
ばかりのあいだ
ピタッと姿を
見せなく
なってるだ
それまでは
くれば
かならず
見られた
もんじゃが
……


ホレ見れ
あすこさ
滝が二つ
あるべ
右が
男滝で
左が
女滝と
よんどるが

大岩の下が
なんだか
深いエコ
みてえだな

あの
男滝女滝に
はさまれた
大岩の下が
ヤツのかくれ家
じゃ……

エコ（江湖）
岸の岩などが
水流にえぐられて
奥深くなってる
ところ（魚の絶好
のかくれ場所）

いっちょうエサでもぶちこんでその怪物くんをさそいだしてみたらどうだべ

あいさふけえのなんのってひょっとしたらトンネルみてえにどこかさつうじてるんじゃねえかと思うほどじゃ

ワッパおめえもいちおうのことは考えつくな…

じゃがそれはムダというもんじゃろうなそんただ手にのるような怪物じゃねえて…

ドッコイショッ……とあわてるなて…そのうちかならずツラをおがませてやるから

どうじゃ ワッパ
ニギリメシでも
食わんか
おらあ
ひとあばれ
したら すっかり
ハラペコじゃ
うわ〜〜っ
いただき
ま〜〜す
こいつう
だいぶ
ハラが
へってるな
へへへ
うまそう
だなあ
ごっつあん
で——す
あっ
キキッ
サンペイ
キャッ
キャッ
まーた
このいたずら
エテ公め——っ

まあまあおこるな
そのかわりホラこんなでっけえのをおめえにやるべ
うひょ〜〜〜っ
へへンざまあみろってんだ
おめえのよりでっけえのをもらったぞ
ハレッオオスゲルー
ベーッ
おめえたちツラあわせるとケンカしてけつかる
だだって
ハハハまあそんなにあいつに目クジラをたてるなって
あいつはきょうの一番手柄じゃ
測量隊がきたことをあいつが知らせてくれなかったらいまごろはてえへんなことだったからな

おじさん…
ダムのこと
おらには
なにがなんだか
わからねえけど
これから
てえへんだな
おじさんも
…
フフフ
ワッパ
おめえには
かんけいの
ねえことよ
伊丹
おらのこと
ウスラバカと
思うじゃろうが…
おらあ
これでも
真剣なんじゃ
…
こんなに
うつくしくて
すげえ
夜泣谷が
ダムの底に
なっちまうのかと
思うと…
…クソオ
……

うめえ
ガブッ
おじさん!!
こんな きれいな
谷川のほとりで
鳥の声や
水の音を聞きながら
食べるニギリメシは
最高だやな…

ン
どうしただ
おじさん
ワッパ
……
おめえ
家さ
けえれ……
いますぐ
そのほうが
ええ
おじさん
どうしただ
いきなり
こんな
さわぎに
おめえを
まきこみたく
ねえのよ
そ そんな
せっかく
ここまできて
いまさら
……
こんだ
いいポイント
見せられて
うめえ話を
聞かされて
指をくわえた
まんま
けえれって
いうのけえ

夜泣谷の怪物の姿も見ねえままけえれというのけえ!!
あんまりじゃねえかおじさーん
コロ
コロ
それは…
!?
トッ
トッ
トッ
クーーーッ

キキッ
ムッ
サンペイ
!!
なんか
用けぇ
・・・
おめえじゃ
ねえ!!
猿のほうの
サンペイが
てえへんじゃ
ボ
キキ
ーッ
ホントだ
猿も木から
おちるって
話は
聞いたことが
あるが・・・
泳げる
のけえ
ウオオーッ
キャウッ

ドドドドド
おおっ
ギャル

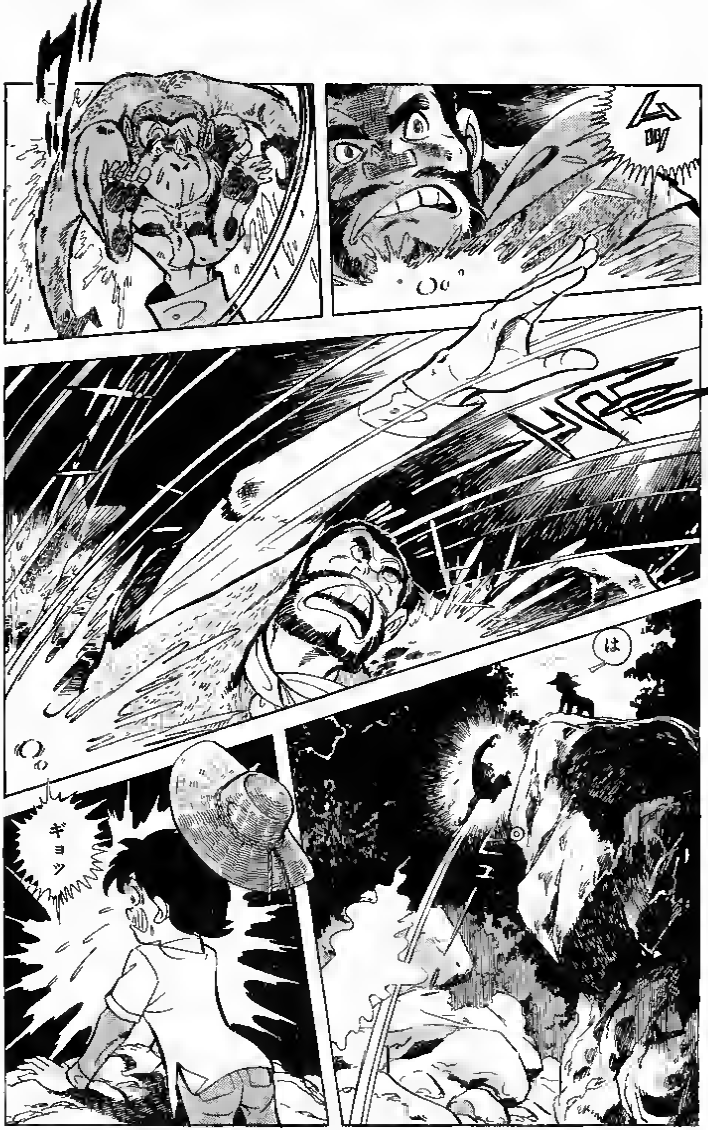
ウッ
ブ
とぷん
で
出たな
怪物めっ
えっ
あ あれが
怪物!!
こうしちゃあ
いられねえ
サンペイが
やつに食われて
しまう!!
ああっ
サンペーッ
ぎ
銀次
さーん

ぎ
銀次
さーん
あ…
サンペーッ
ウホホ
ゴボゴボ

サンペーッ
いまたすけにいくぞーっ
キキーッ
ウッ
プァーッ
ブボブボ

ウギ

ウギーッ
ウヒョッ


ガ!!!
ハッ
ドサ
は
ギョッ

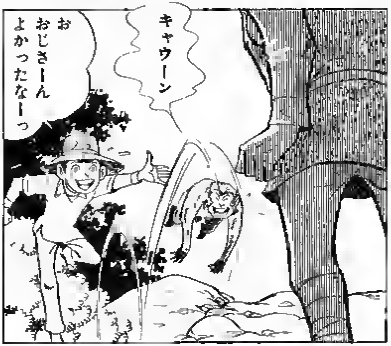
あひ〜〜〜っ
あうっ
ゴゴゴ
ウグッ
あううっ
こ こら
はなせっ
はなさんか
!!
ウキキ——ッ
ズル…
ウキキッ

プアーッ
フフフ こしゃくなまねしおって
クソオ 怪物めっいままでどこさかくれてたというんだ
もう すこしでサンペイがおめえのえじきになるところじゃったわい
だがよ おめえの妻を見たってだけでおらめ…なんだかワクワクしてきただ
フフフ そうこなくっちゃあおもしろくねえやい…
こ こら はなせ——っ はなさんか——っ
ウキキッ
んぴ

ウグッ
ゴロン
あたたたっ
か髪の毛むしるなっ
ククッ
キャフーン
キャフーン
ん!?
ホコッ
ホコッ
ハハハハ
なーんだ
そうけえ
おめえ
こわくて
ふるえてる
んだな
んだから
おらに
しがみついて
るのけえ
ヘコリー

こいつう!!
にくったらしいわるさばかりするエテ公だども
フトッ
めんこいやつじゃて!!
どうでえおなじサンペイどうしじゃ
ケンカをやめてなかよくするけえ
ケホッケホッ
このヤローッ握手だなんてしゃれたことを知ってるな
フングフング
こなまいきなエテ公だ
ん!?
ムーチョムーチョ
イッ

アホーッ
わるのり
するなーっ
!!
チート
ノリスキタナ
ムキッ
おーい
おめえら
ぶじかーっ


キャウーン
おじさーん
よかったなーっ
ウキキ
ウキウキ
サンペ
サンペ
ケポッ
ケポノ
フムフム
ホホウ

ガハハハハ
こいつあ
けっさくじゃ
ウキ――ッ

おじさん
猿のことば
わかるのけえ
な なんと
いっただ…

三平と
サンペイは
ただいま
すっかり
なかよしに
なった…
だと
まずは
めでてえ
ガハハハハ

それは
そうと
ワッパ
いまのを
しかと
見たべ!!
夜泣谷の
怪物の
姿を……!!

お
おじさん!!
すすげえ
おらあ
たしかに
この目で
見ただ

サンペイを
めがけて
ウガ〜〜ッ
なんちゃって
そ それによ
左目が
コレだったじゃ
ねえか

さすが 魚のことに
なると
目が早いな
ワッパ
とびあがった
ほんの短時間に
やつが片目なことを
見ぬくなんて……
てえした
やつよ
レボ
テモ
アル

おらあ
見た瞬間
思っただ
あいつあ
まさに
左腸岩魚
だってな
……

ほれ むかしの
サムライで
剣のやたらと
強い人で
片目片腕の
男がいるべ
あーん

左腸岩魚
だとオ
なんでえ
そりゃあ
……

あの
シェイは丹下
名は左腸の
……あれけえ
そうよ
その左腸じゃ
……

うーむ
なーるほど
左腸岩魚
けえ……
ピッタシ
だな やつの
名まえに
……

ワッパ
おもしれえや
その名まえを
もらったぜ
きょうから
怪物のことを
左膳岩魚と
よぶべえ
フーム
いい名じゃ
……
ワッパ
!!
いや……その
三平三平くん
おめえってやつは
ふしぎな
ワッパじゃのう
いや
ふしぎちゅうか
運がいいちゅうか
?
ここんところ
ピタッと姿を
見せなかった
あの怪物
左膳岩魚が
おめえが
この谷さ
きたのに
つられた
みてえに
出てきおった
出てきよった
ばかりじゃ
ねえ
左膳岩魚
なんちゅう
ハイカラな
名まえまで
もらっ
ちまってよオ
三平三平
おめえって
やつは
まっこと
釣りキチじゃな
ガハハハハ
そ
それほど
でも……

でも
おじさん
あの
左腰岩魚は
なして あんただ
キズがついたべえ
タヌキに
やられた
のよ
タヌキ
そうよ
タヌキよ
この夜泣谷は
見てのとおり
景色のうつくしい
ゆたかな山じゃ

春になりゃあ いっせいに 木の芽が ふきだして

花が咲き いろんな山菜が ふんだんに ほころびはじめる……

秋にゃ秋で 栗やトチ 山ブドウの実が どっさり みのるし……

ナメコやシメジ なんかのキノコ類も ボコボコはえて きよる

いろんな 動物たちが この谷さ よく 水をのみに くることが あるだ

あのタヌキも ちょうど 水を のみにきたとき だったなあ

んだから ここは 動物たちに とっちゃ 楽園よ

だいたい
タヌキってやつあ
おくびょうな
動物でなじつに
用心ぶかい
ものなんじゃ
あたりに
注意しながら
よーく
足場を
きめて
水を
のもうと
したとき
じゃった

おらあ そんとき
その すこし奥で
釣ってただが
タヌキのやつあ
足でもすべらして
水におっこちた
な・・って
思っただが
ううっ

キャフーッ
ウップ
スサササ
キャフーン
ゴボ
ゴボ
ゴボ

すげえ
片目の
大岩魚だ
ついに
タヌキを水ン中さ
ひきずりこんだ
ああ
プカプカ
うっ

ズザザザ

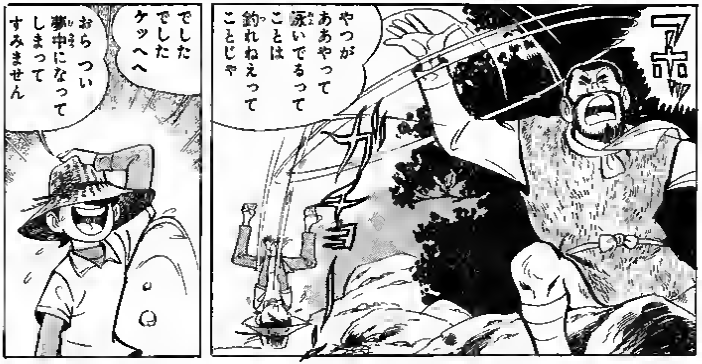
見る見るうちのできごとじゃった

おらあ声も出んままその場にすわりこんでしまったが
そんなおらの目の前を左端岩魚のやつあ何十ぴきという群れをひきつれゆうゆうとひきあげていっただ
ポケ

おじさんがはじめて見たときはすでに片目だったわけだね
そうじゃじゃがおそらく……
あいつがまだちいさいころに一度タヌキにあんないたずらをしかけて片目をキズつけられたとおらはにらんどる
そんときのうらみがタヌキだと見ればかみつくようになったもんじゃろ
すると猿のサンペイくんのばあいは……？
まちがえたんじゃろ
サンペイもちょっと目には毛色がタヌキに似てるからな

それからというものはおらにとっちゃあ岩魚とくりゃあいつ以外は雑魚同然みてえなもんよ
ワァ
そりゃあもう夢中で釣ろうとしてかけずりまわったんじゃ

そ それで釣れたんですか!?
なにがよう
ブヒヒ
岩魚ですよ片目の左曲岩魚が


やつがああやって泳いでるってことは釣れねえってことじゃ
でしたでしたケッヘヘ
おらっついつい夢中になってしまってすみません

ガハハハワッパどうじゃ
その目つきのあんぺえだと釣りキチのムシがうずきだしたようじゃな
ヘヘヘ

そんただこときまってるでねえか
こいつう
へへへへ……
ムッ!!
またきおったか!!
こなまいきなサンピンめ
あっ
あの若い剣豪の人だ

あれれっ
たった
ひとり
きりじゃ
ねえか
うーむ
どうやら
なかまは
けえった
らしいな

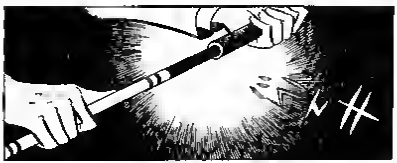
なにしに
もどって
きたんだ
べえ
さあて
なんか
こんたんが
あるかも
しれんぞ
キョロ
キョロ

じゃが
しゃらくせえ
まねを
しおったら
ただじゃ
おかねえて
フフフ

でもおじさんあのひとはそんただわるいひとじゃなさそうだよ
バカこけこの夜泣谷をつぶそうってれんじゅうだ
このへんのキカイがくるっとるにきまってるじゃねえか
ザク
ザク

あれっ
釣りをする
つもり
らしいぜ
ホホウ
こんどは
測量棒に
かえて
釣り竿を
持って
きおったか

キュルル



イョッ

なーんか
カツコ
つけてるども
岩魚でも
釣るつもりだ
べか…？
バカも
やすみ
やすみ
いえっ
あんな
青ビョウタン
みてえなやつに
岩魚が釣れたら
おら
さかだちして
ケツのあなで
スルメでも
かんで
みせるて
ガハハ
オエーッ
ヒュッ
ポ
ケミ

ほら見れ
竿ひと振り
まんぞくに
できねえべ
プ
ゲシシ
ブーッ

おら
もうすこし
ここに
いるだ

あんなのを
見てたら
日がくれ
ちまう おらあ
けえるぜ
左膳岩魚も
おらが とびこんだ
もんだから
びっくらこいて
出てこねえ
だろうしな…

そうけえ
ほんじゃ
そこで
じっくり
やつを釣りあげる
方法でも
思案してろ

んだども
あんまし
おそくなる
ねえぞ

おっ
そうそう
かえりに
岩魚の五 六ぴき
釣ってこいや
晩メシのおかずに
するからな
うん

左腾岩魚
……
すげえ
バケモノ岩魚
じゃ……
銀次さんが
いうように
なみの方法じゃ
釣れそうにも
ねえ……

いったい
どんな方法で
やったら
いいだろう
こりゃあ
頭に二三本
注射でもして
考えなければ
よういでねえぞ
ウーム
左腰岩魚の
ポイントは
男滝と女滝に
はさまれた
あの大岩の下の
エコだ…
しかし
あのポイントを
せめるには
この鳴神扇の
まわりは
あまりにも
足場がわるすぎる
ポイントの
右の岸も
左の岸も
断崖絶壁と
きてるから
竿を振る場所は
まるっきりねえ
……

やつに気配を感じられねえでエサをうちこめる足場といえば
この大岩しかねえな

しかしここからだとあのポイントまで二十メートルちかい距離だ
あまりにもポイントが遠すぎる

四・五メートルや五メートルていどのふつうの渓流竿じゃ
とてもじゃねえがとどかねえ

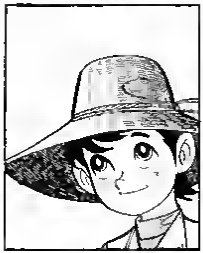
ぎゃくにいえばこんな条件のそろった場だから
左腰岩魚みてえなバケモノ岩魚がすんでるのかもしれねえな…

んだどもなーんかいい方法があるはずだ
こりゃあおらと左腰岩魚の知恵くらべになりそうだな

ウキキッ
？
なーんだおめえか
ウキーッ
ここらあんましなれなれしくするでねえ
サンペサンペケポケポウキーッ
ン
あーあのひとついに糸をこんがらかしちゃったな
くそっ

チェッ
うまくいかない
ものだなあ
あたらしい
テグスに
かえよう
カラ
カラ
こんど
こそは
うっ
クーーーッ
ムッ

!?
クン
ウキキッ
キキーッ
クーッ
こーら
サンペイ
いいかげんに
しろ
ひとの
失敗を見て
わらうなんて
最低だぞ



きみは
たしか
たしか
炭焼きの銀次と
いっしょにいた
子じゃないか

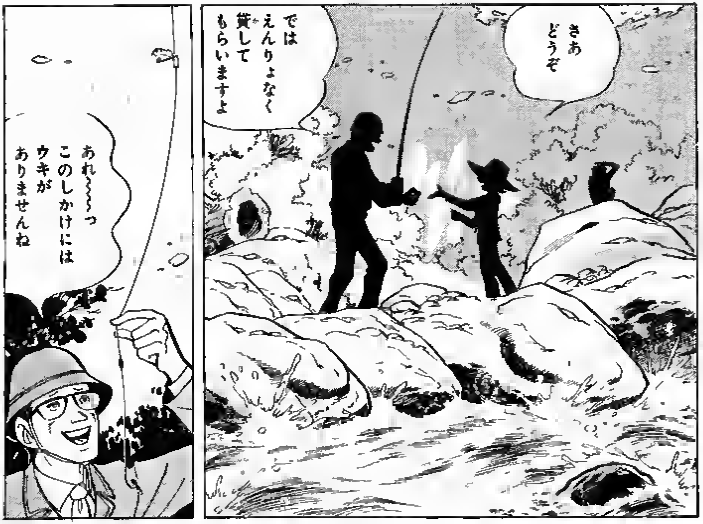
あーあ
新品の竿を
折っちゃって
これじゃ
釣りに
ならねえな

おにいちゃん
竿をにぎるのは
はじめてみてえ
だなや
はずかしいな
だれにも
見られてないと
思ってたのに

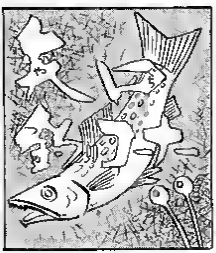
なれない
ことは
やるもんじゃ
ないですね
でも どんなに
たのしいものか
一度 やって
みたかったん
です

にいちゃん
おらの竿で
よかったら
やってみろよ

えっ



ミャク釣りのしかけ



岩魚釣りは ふつうエサ釣りと毛バリ釣りの2つにわけられるが 本コーナーでは エサ釣りのうちでもっとも岩魚釣りに適したミャク釣り（流し釣りともいう）について説明しよう

竿（四・五メートル〜五メートル）

糸の目印（水鳥の羽根）

オモリ

ハリ

目印

アタリ(魚信)は糸をはっているので直接手に感じるが一つつ目印のうごきを見て判断する

ミャク釣りのコツ

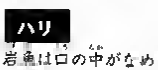
エサが下流になされても竿をおくって糸をかるく垂直にはることがたいせつだ

渓流は川底がでこぼこしているのでオモリがつかないように竿を上下して水深にあわせること

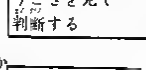
太陽を背にするべからず(水にカゲがうつると魚がにげるから)

ハリ

岩魚は口の中がなめらかでかたいのでかえしのない鮎かけバリがいい



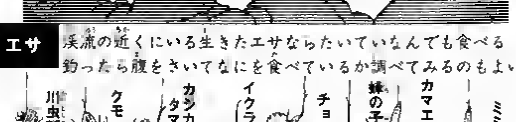
竿のにぎりかた



ふろく

エサ

渓流の近くにいる生きたエサならたいていなんでも食べる
釣ったら腹をさいてなにを食べているか調べてみるのもよい



こんなもんですか
うん 竿は手首をきかせてかるーくスッと…
はいかるーくスッ…ですね
かるーく……
スッ
だめだなあ手首のスナップがきいてないんだなあ
ハア
だいたい釣り竿のしなり(弾力)さえうめえこと利用すればかならずエサはとぶことになってるだ
おらがもう一度やってみせる

投げ餌は
釣りの基本
だべ
これが
できなきゃ
釣りは
できねえ
ハハア

ズザザー

ムヒョ

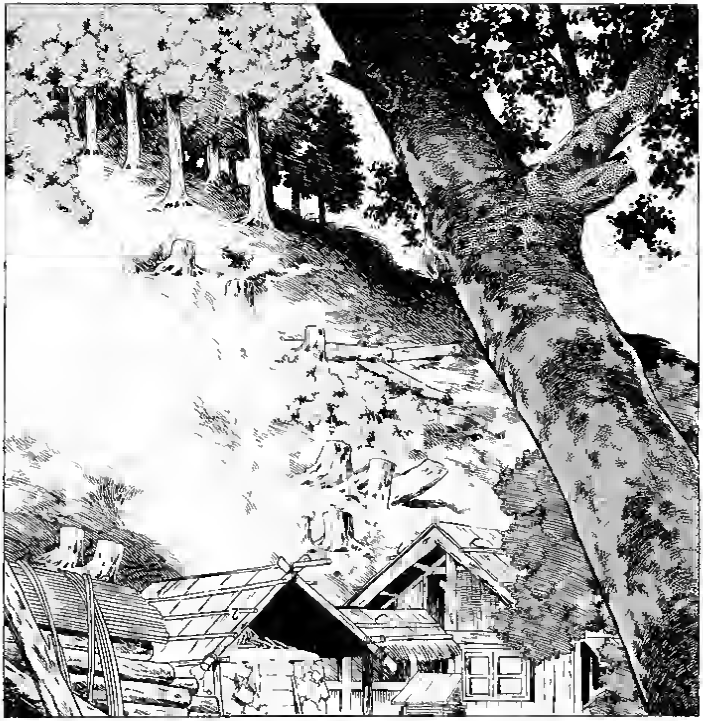
ヒュ
レ
さすが
みごとです
ねえ
三平くん
わかった
かや
もう一度
やってみろ
ハア
でも
なかな
むずかしい
ものです
ねえ

むずかしいだとオ
こんだことぐれえできねえであのバケモノの左腸岩魚をどうして釣るというだーっ!!

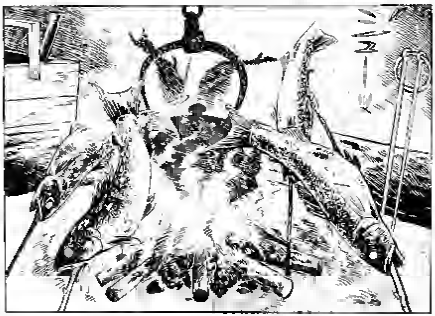
そんなあまっちょろいことでどうするというだーっ
さ三平くん
どうしたんですかきゅうに
ポケーン

ケッへへへすまねえおらいま夢見てただ頭がどうかしてただ
アホ
とにかくいまの要領でやってみてください

このへんで見ていますから
ウギール オトゥガヴァエテ セモィテラシテル コナマイキナー
キキッ
かるーくスッと
でしたね三平くん
さ三平くん



フーッ


ジュー

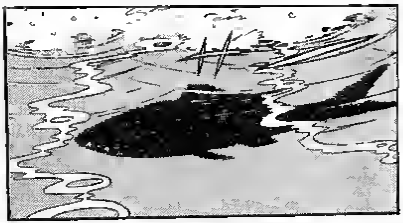
ワッパ そろそろ こっちさこい おめえの釣った 岩魚が こんがりと あぶれたぞ
あーん
カーッ
ワッパめ かんぜんに 左瞳岩魚に とりつかれ おったな
ポケーッ
むりも ねえて……
おらだって はじめて あいつと 会ったときのことを 思えば 気持ちは わからんでも ねえ フフフ……
シュー
ポタ
滴

それにしてもこの岩魚ほどよくあぶらがのってて
思わずよだれが出るわい
おいワッパいいかげんに目をさませ
メシだメシにするぞーっ
こりゃいかんかんぜんにとりつかれてものが見えん状態じゃ
おうサンペイ
おめえがいってよんでこいすぐメシにするから
ウキーッ
ウキキーッ
ケボケボサンペメシケボ

?
!?
ケポケポ
サンペ
パ～～～ッ
あーん
こりゃあ
いかんな
ちょと
荒療治を
せんことに
や……
ピキ
ズカ

わっ!!
ケッへへ ちとやりすぎたかなあ……
イッ

ガハハハ
めんこい
やつよ
狙がきめたと
思ったら
ガツガツ
食いやがる



あったりめえよ
腹ペコなんだもん
ちげえねえ
んだども おらあ おじさんを見なおしただ
おじさんって料理がうめえんだなあ
そうけえ おらのつくった料理がそんなにうめえか
うめえのなんのって
おらおせじはいわねえ
この岩魚の塩かげんといい
こっちのタケノコの煮つけといい
それにこのゼンマイのミソ汁
最高ーっ
ばはっ

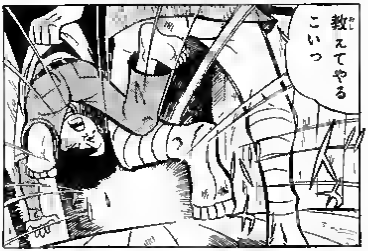
そうけえ
そのタケノコは
おととしの春に
とったものじゃ
去年のやつも
ホレ…
塩づけにして
あるて
ゼンマイなんか
かんそうして
しまってあるが
売るほど
ある
ほ
ほんと
けえ
そう ほめられると
おらあ しこたま
ええ気分だ
ン
おめえ
のむけえ

おおが酒を!?
なーに酒っていったってジュースみてえなもんよ
おらのためにサンペイが山ブドウでつくってくれたもんじゃ
ええっサンペイくんが!?
ウキキ
オーヨシヨシ
すると猿酒けえ
まあひらたくいやあそういうこっちゃがたいしたもんじゃねえ
ぐーっとやってみろ
へエーッこれが猿酒けえ
ウ
ウウ〜ム

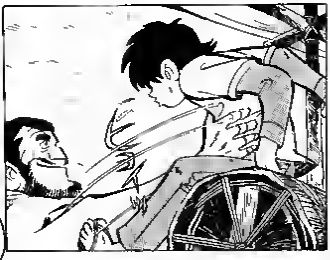
なあ
てえした
ことねえべ
ウキキー
アーキクッ
イッ
もう
いっぱい
ください
!!
ウーィ
うめえ
ヒック
とろろ!
銀次ーっ
もう
いっぱい
のませろ!!
銀次ーっ
おおい
ワッパ
いける口だ
なあ
よしっ
気にいった
銀次ーっ
おらも
おめえが
気にいったぞ
そうけえ
そんなら
おめえ
炭焼きに
なれっ

ワッパ
ますます
気に
いったぞ
ナケル〜〜ッ
コンチャッ
ゴ

おう!!
なってもいいぞ
んだども
おらあ
炭焼きのこと
なにひとつ知らねえ
それでもいいけえ


教えてやる
こいっ

おらのだんなも
ものずきだなあ
炭焼きは古いスよ
石油やプロパンガス
なんて便利なものが
ある ご時勢によ
あら〜〜〜ん
あんたニュース
知らないの
いまや その石油も
プロパンも品不足で
日本じゅうが とっても
こまってるのよ〜〜〜ん


これが
炭を焼く
窯だ

この中さ
ナラやブナの木を
入れて焼けば
木炭ができる
のじゃ

いいか
ワッパ

たった
それだけ
そうじゃ
かんたんだ
べえ
なんぼなんでも
かんたんすぎて
わからねえな
もっと
くわしく
説明しなく
ちゃあ

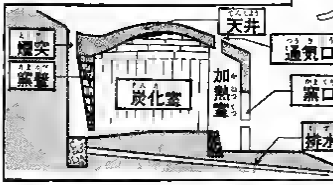
くわしくたって
こまったなあ
おらあ
そういう
めんどうな
ことは
大のにが手
だし
なたたのむ
かてえことを
いわねえで
よう
Y記者に
見つかっても
ぼくは
知りません
よ

炭焼き釜コーナー
今回は グッと
おもむきをかえて
木炭の製造について
やるのですだ ギヒヒ
木炭ちゅうのは
木が燃えつきて
灰になるまえの
オキを消した
ものと思えば
いいだ
家庭で
火消し壷を
つかってつくる
消し炭も
木炭の一種と
いうことじゃ
火消し壺
しかし消し炭は
やわらかすぎて
火力もよわく
火もちがわるい
木炭はこの消し炭の
短所をとりのぞき
かたくて火力が強く
原料の木材(炭材)
に かたい木をつかい
炭焼き窯という
特殊な窯をつかって
つくるんだ
一等賞

炭材としては カシ ナラ クヌギ クリ 松など おもに かたい木をつかう

焼き窯は こんな しかけに なっとるが

炭材をたてて窯口から火をつけ炭材に火がついたら窯口をしめきり通気口をちいさくして できるだけ長い時間燃やすことによって窯の中の温度を高めるのが木炭づくりのコツだ



ひとくちに木炭といっても一般的には白炭と黒炭の二種類にわけられる

それぞれ長所短所があるが 焼き窯のちがい窯の中の温度 火の消しかたのちがいがべつべつの木炭をつくりだすのだ

	焼き窯	消火	炭の質	利用
白炭	窯のカベを石でつくる 窯の中の温度は一〇〇〇度以上	白熱しているオキをカギで窯から ひきだして 消し粉(土や砂)をかけて消す	表面が白っぽくかたくてわれにくい 火つきはおそいが火力が強くて長もちする	火もちが長いのでこたつなど長時間の暖房にもくほかモチや魚を焼くのに便利である
黒炭	窯のカベを土でつくる 窯の中の温度は七〇〇度以上	通気口と煙突をとじて窯の中で しずかに人を消す	表面が黒いやわらかくわれやすい 火つきが早いがどんどん燃えて長もちしない	火つきが早いので短時間の暖房や湯わかしなどに利用される

白と黒をくらべる表をつくってみた

木炭は ただ ものの煮炊き ばかりでなく 化粧品(マユズミ) 絵のデッサン用木炭 冷蔵庫の脱臭剤 黒色火薬の原料 など 一家庭から 工場まで さまざまに利用されている

おれの仕事も まんざら すてたもんでねえべ

つべこべ
ぬかすなーっ
いいじゃ
ねえかーっ
しかし
これは
釣りマナーが
ですよ
釣った魚を
焼いて食うには
炭火がいちばん
なんじゃーい
わかったかーっ
フフ
いきみた

なーるほど
木炭とひとくちに
いってもいろいろ
あるんだなあ
まあ
そういった
とこだな
おらあ
銀次さんが
ますます
すきになって
しまっただ
ケヘッ
こいつう

だがよう
あの左隣岩魚
だけは おらに
やらしてくれ
ホ
やってみろ
おめえが手を
あげて降参
するまで
ゆっくり見てて
やろう

バンザーイ
ありがてえ
おじさん
すきだ
よーっ
ギョソ
のりすぎ
だ!!
ケッへへ
だがよう
おじさん
あの鳴神崩は
足場がわるいうえ
決定的なことは
ポイントの
左膳岩魚の
かくれてるエコが
凄すぎるんだ
なあ
ワッパ
さすがだな
足場は あの
大岩しかねえことに
気づくなんて

足場の大岩から
エコまでの距離は
およそ二十メートル
は あろう……
あまりにも
遠すぎる

手段さえ
えらばなけりゃあ
網をつかっても
モリをつかっても
とることは
できるじゃろが
釣りキチの
心意気は
サオ一本
テグス一本
ハリ一本じゃ
サオは手の延長!!
テグスは
一リンでも細く
エサはしぜんに
ながす

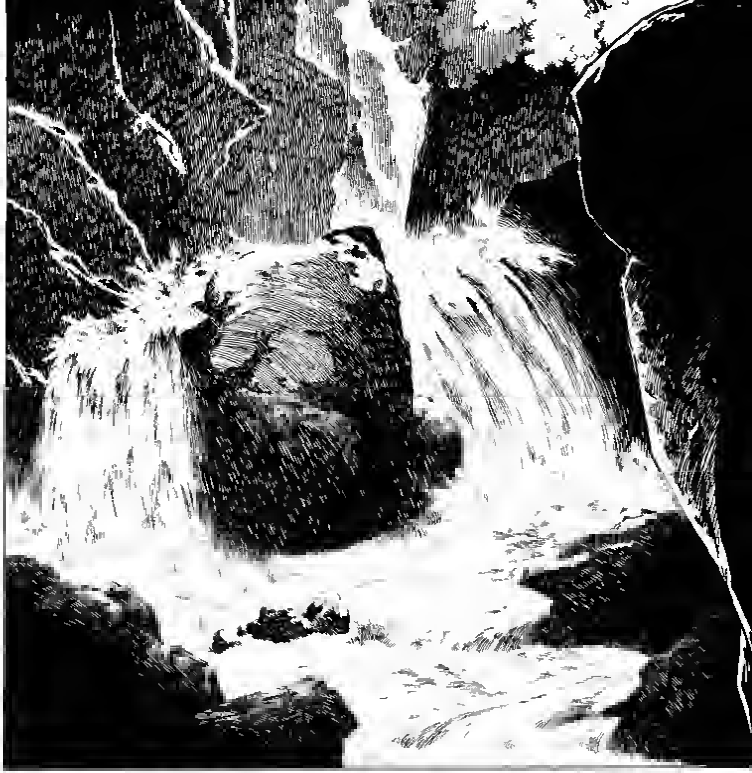
釣りは
忍耐じゃ
ズ
魚と人間の
忍耐と知恵の
くらべっこじゃ

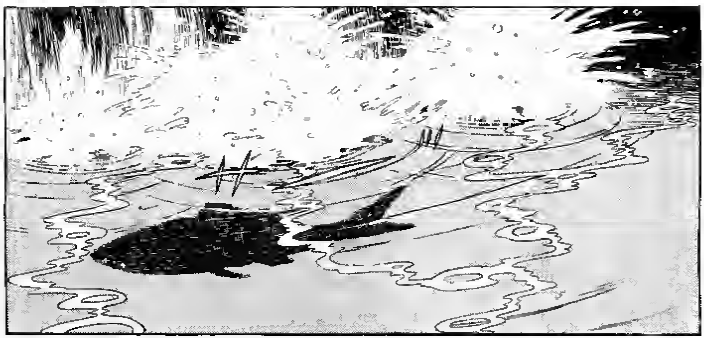
ワッパ
もう寝るべ
フア～

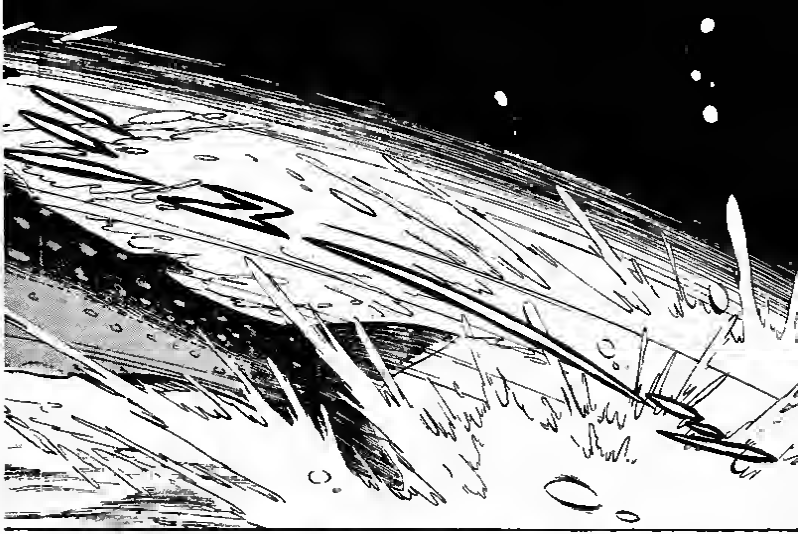
あしたって日が
あらあな・・・
イヨ坂
ようし
・・・・

んだな
あしたって日が
あらあな・・・・

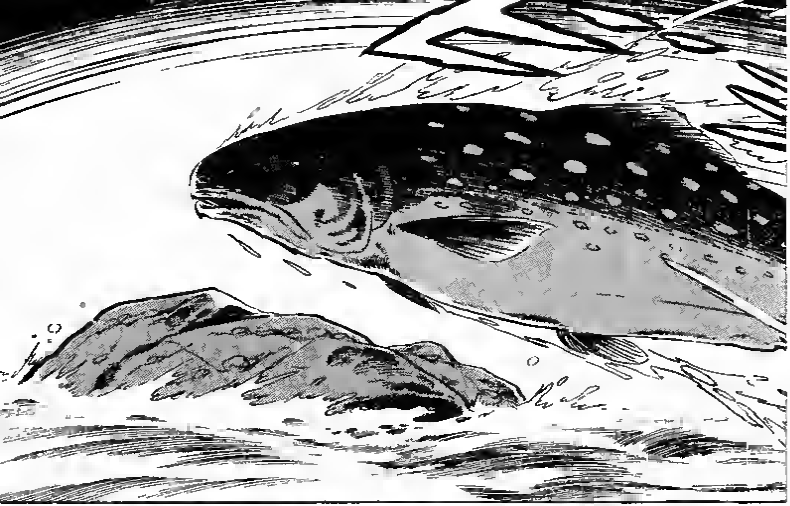
釣りは
忍耐
魚と人間の
忍耐と知恵の
くらべっこ





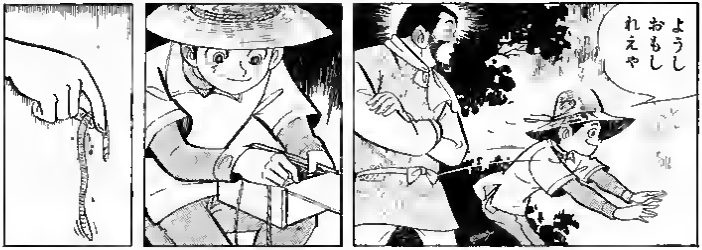


ワッパ
見たか
……
……
!!
あれが この
鳴神淵を
泳ぎまわる
左腸岩魚の
姿じゃ……
へエーッ
左腸岩魚って
やっぱし でかくて
ゆうぜんとしてる
ども……
トンボがえり
なんか
やらかして
けっこう
あいきょうが
あるんだな



フフフ
たしかに
あいきょう
もんじゃが
じつに
ぶかいやつ
じゃ
この湖を
あちして
泳ぎまわって
いるうちは
ぜったいに
エサを口に
しねえやつじゃ

そ そんな
バカな
ワッパ
信じられねえ
なら 自分で
ためしてみる
こったな
ドバミミズの
なるたけ
でけぇやつを
やつの鼻っツラに
ぶちこんで
みろて……
もし
食らいついたら
おなぐさみ
じゃ……フフフ


ようし
おもし
れえや

鼻っツラの
上手一メートル
さきに おとせ
ごいっ
やるぞ

ああっ
シッポでひっぱたいてにげてってしまった……

フフフ
わかったかワッパ
おらが なんど
ためしてみても
ああじゃった
わ……

だから
やつがああして
泳いでる以上
エサなんて
問題にして
ねえのよ

すると
あの男滝 女滝に
はさまれた大岩の
エコから出て

この渦の中を
泳ぎまわってる
うちは 釣れねえ
ってことに
なるのけえ

はやい話が
そういう
ことじゃ

エサを
口にしねえものを
釣りあげることは
できめえ

そんじゃあ
左腸岩魚は
いってえ
なにを食って
生きてるだ

ワッパ
そのへんの
ところを ようく
考えてみろ

岩魚ちゅう魚は
川虫や昆虫類まで
およそ この谷川の
近くにいる生きものは
なんでも食っちまう
荒食い家じゃ

しかし
荒食いするが
かわりに
しこたま
用心ぶかく

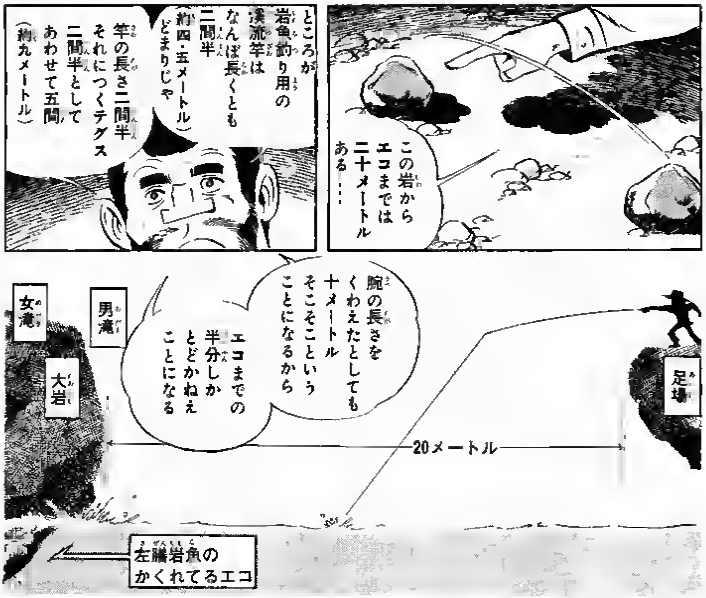
水底の
大岩の下などで
上流から
ながれてくるエサを
目をひからせて
じっと 待ってる
もんじゃ

そして
エサだと
見るや
すごい早さで
そいつに
食いつく習性を
もった魚じゃ

おじさん!!
……という
ことは
左鵬岩急は
あの大岩の下の
エコにかくれて
滝から
おちてくる
エサを…
それしか
あるめえ
左鵬岩急は
そこまで用心ぶかく
エサを食って
きたからこそ
あんなに
でかくなるまで
生きてこられた
もんじゃろ
なるほど
なあ…
ようするに
あの滝ツボに
エサをぶちこま
ねえと食いつか
ねえってことだな…

ハッ
おじさん
かんたん
じゃ
ねえか
あの滝ツボさ
エサをぶちこむ
なんて
かんたんじゃ
ねえか
滝の上流から
テグスを
なが――くして
エサをながせば
まちがいなく
滝ツボさ
おちていくべ
それとは知らず
左藤岩魚が
ガバチョッと
食いつく……
おら
頭が最高に
さえてるう!!
あほん
だら!!
滝の上流に
手ごろな足場が
あるというの
けえっ
見れ!!
両岸は切りたって
近くに足場に
なるところなんぞ
ひとつもねえべ
テグスを
長くして
もっと上流から
ながしたら……

タハーッ
そんなこと
できると
思っとるの
けえ
ワメバ
ナカテ
クルーッ
できねえか
なあ…
ほんじゃ
おめえのいうとおり
やって 運よく
かかったとしてだ
どうやって
ひきあげるだ
細いテグスが
イチコロに
きれてしまうべ
ものすげえ
いきおいでおちる
滝の水にさからって
あの大岩魚を
ひきあげられると
思っとるのけえ
なーにが
頭が最高に
さえてるう
…だ
バカも
やすみ
やすみ
いえ!!
ワッパ
いいかっ
こういうことだ
いま
おらたちが
立ってる岩しか
てきとうな
足場はねえ
ここが
おらたちの
立ってる
岩じゃ
左膳岩魚の
エコは
ここじゃ


この岩から
エコまでは
二十メートル
ある…
ところが
岩魚釣り用の
渓流竿は
なんぼ長くとも
二間半
(約四・五メートル)
どまりじゃ
竿の長さ二間半
それにつくテグス
二間半として
あわせて五間
(約九メートル)
腕の長さを
くわえたとしても
十メートル
そこそこという
ことになるから
エコまでの
半分しか
とどかねえ
ことになる
男滝
女滝
大岩
足場
20メートル
左膝岩魚の
かくれてるエコ

カーッ
竿なんかあっても
なんの役にも
たたねえって
わけか…
大岩魚を
目の前にして
手も足も出ねえ
なんてくやしいなあ

くやしいじゃろ…
だったら おらが
きょうまで
どんなにくやしい
思いをしてきたか
わかるべ
じゃが
釣りというもんは
竿とテグスをつかう
もんで ほかの方法
じゃったら
そいつは
釣りじゃねえ…

竿とテグスを
つかわねえ
釣りは 人間の
負けじゃ
釣りは
魚と人間の
忍耐と知恵の
くらべっこ
じゃからな…

おめえゆんべ左腕岩魚はまかせろといったな
ハア
おらがおめえに教えておくことはここまでじゃ
あとはだまってるから自分で思いどおりにやってみるこっだな
ただしおめえがこうさーんといったらおらと交代するだぞ
シュン
イヒヒ
ク〜〜〜ッ
ウキキーッケポケポ
!?
どうしたサンペイ
クッ

やあ 三平くん ここでしたか
きのうは どうも 釣りのコーチ してくれて ありがとう
き きさま !!
黒沢さん どうでした 釣れました か…!?
ワッパ ひっこん でろ
おら このサンピンと ケリを つければ ハラの虫が おさまらん
だ だって
やい サンピン てめえダム工事の 測量てなきゃあ この谷に はいっても いいと思ってる じゃろうが
そうは いかねえぞ
ウッ
そ そんな ムチャなこと やめてください
ぼくは あなたがたと おなじように ただ 釣りを たのしんでいる だけなんです
それが よけいな ことだと いっとるん じゃい!!

ウッ

だいたいだな
てめえらのように
ダムをつくって
この夜泣谷を
つぶそうって
やつらに
ここで
釣りなんかやる
資格があると
思っとるの
けえ!!

フフフ
銀次さん

そこに川があり
魚がすんでいる
以上釣り人は
釣る権利が
ある…と
いったのは
あんたじゃ
ありませんか

そうよ・・
それが おらの
考えじゃ
だったら
ぼくだって
釣る権利は
あるはずじゃ
ありませんか

このバカ
こしゃくな
小理屈を
こねる気だな
おじさん
黒沢さんは
そんなに
わるい人じゃ
ねえだ

ワッパ
こんなやつが
悪者でなくて
いってえだれが
悪者じゃ

いいか
耳のアナを
かっぽじって
よく聞けっ
たいせつな
ことだから
まちがって
聞かれちゃあ
こまるぞ

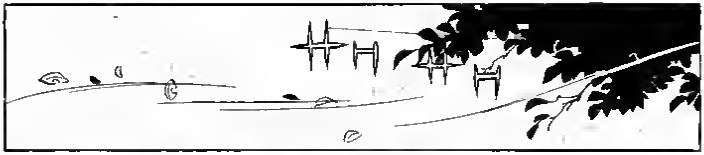
そこに
水がある!!
水がある以上
魚には
すむ権利が
ある!!
そこに川があり
魚がすんでる以上
釣り人には
釣るという権利が
あるのじゃあ!!

しかしじゃ
てめえらは
その川に ダムを
つくろうと
しとる
ダムってやつあ
つくってしまえば
そのダムのため
魚が上流に
のぼれなく
なっちまうだ

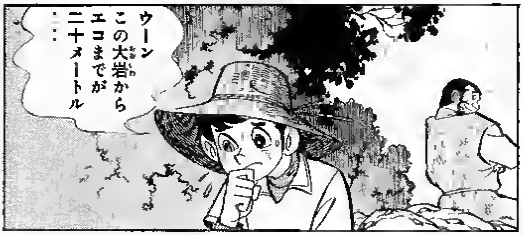
つまりだ
てめえらの手で
つくってしまえば
そのダムのため
魚が上流に
のぼれなく
なっちまうだ

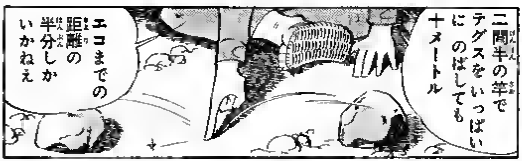
そんなこと
やらかしても
いいのけえ
水があるのに
魚がすめなくする
権利が いってえ
どこのだれに
あるというだ!!

んだからてめえみてえなやつらに釣りをする資格なんかあるはずがねえっ
うせろ——っ二度と夜泣谷にくるな——っ
おらの目ン玉の黒いうちはダムなんかぜったいつくらさんぞ——っ
おじさん炭焼きのくせにすごい理論をもってるんだなあ
おらあびっくらこいただ
ハア
そうけえおめえにもおらの釣りの理論ってやつがわかるのけえ
わかるようで…さっぱりわからねえ
そんなしちめんどうくせえことはもっと大きくなってからにするだ
それよかいまのおらはあの左腸岩魚をいかにして釣るかのほうがたいせつなんだ
そうじゃそのとおりじゃぞワッパ
おめえはこんなことにまきこまれちゃなんねえぞ



フフフ


ウーン
この大岩から
エコまでが
二十メートル
…


二間半の竿で
テグスをいっぱい
に のばしても
十メートル
エコまでの
距離の
半分しか
いかねえ

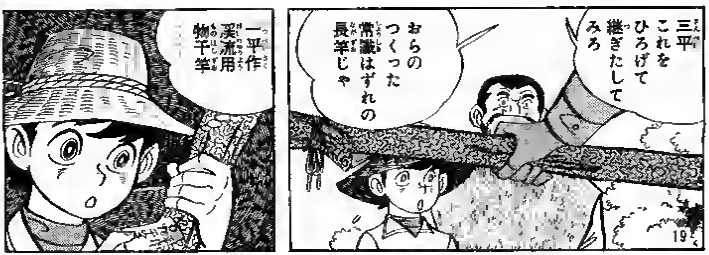
待てよ
!!
もし…
竿が…

おじさん
ひょっとして
竿の長さが
二倍あったら
あのエコに
エサをうち
こめるんじゃ
ねえかな

なんだとオ
ワッパ
竿の長さを
五間(九メートル)に
して テグスも
五間にすると
いうのけえ
うん
テグスのほうは
すこし長めに
すれば 腕の長さも
くわえると だいたい
二十メートルに
なるんだ

アホ!!
もうすこし
まともな
考えが
できねえ
のけえ
理屈では
たしかに
そういうこと
じゃが
だいたい渓流用の
五間竿ってのは
きいたことがねえ
ワン
あっ
そうか
おら 頭が
どうか
してるな
いや
三平
その考えは
なかなか
おもしれえじゃ
ねえか
ウッ
じいちゃん
!!
一平!!
おめえ
どうして
ここさ
……
三平
だいぶ
こまってる
ようじゃな
……

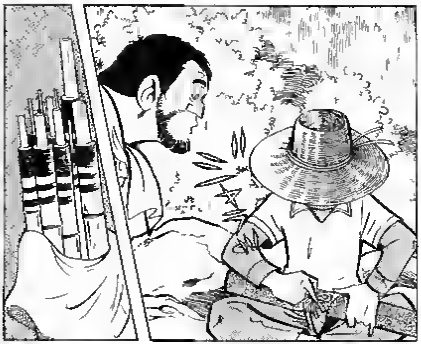
たぶん
こんな
こっちゃろうと
思って
やってきたが
案の定
じゃったな
フフフ


三平
これを
ひろげて
継ぎたして
みろ
おらの
つくった
常識はずれの
長竿じゃ
19
一平作
渓流用
物干竿

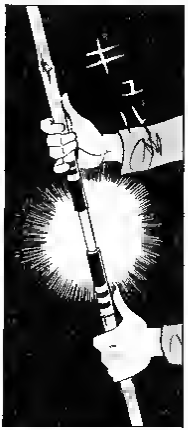
なんじゃとオ……物干竿だとオ!?
おい一平!! なんじゃこの物干竿ちゅうのは
んだってそう書いてあるだここさ
ニヤ!! 物干竿

フフフ…
気まぐれに
つくってみた
だけじゃ
ふつうの
渓流竿の
倍の長さの
やつをな
じいちゃん
渓流竿と
いったら ふつう
二間半
(四・五メートル)
だべえ
それが
その倍も
あるって
ことは…
ひと切り二尺五寸
(七十五センチ)の
十二本継ぎ
じゃから
全長五間
(九メートル)の
竿じゃ
これだけ
常識はずれの
長竿じゃから
物干竿としか
いいようが
あるめえ
フフフ…
五間の
長竿…
そ
そんな
アホな
フフフ
…
ワッパ
とりあえず
ひらいて
みろ
!!
よっしゃ

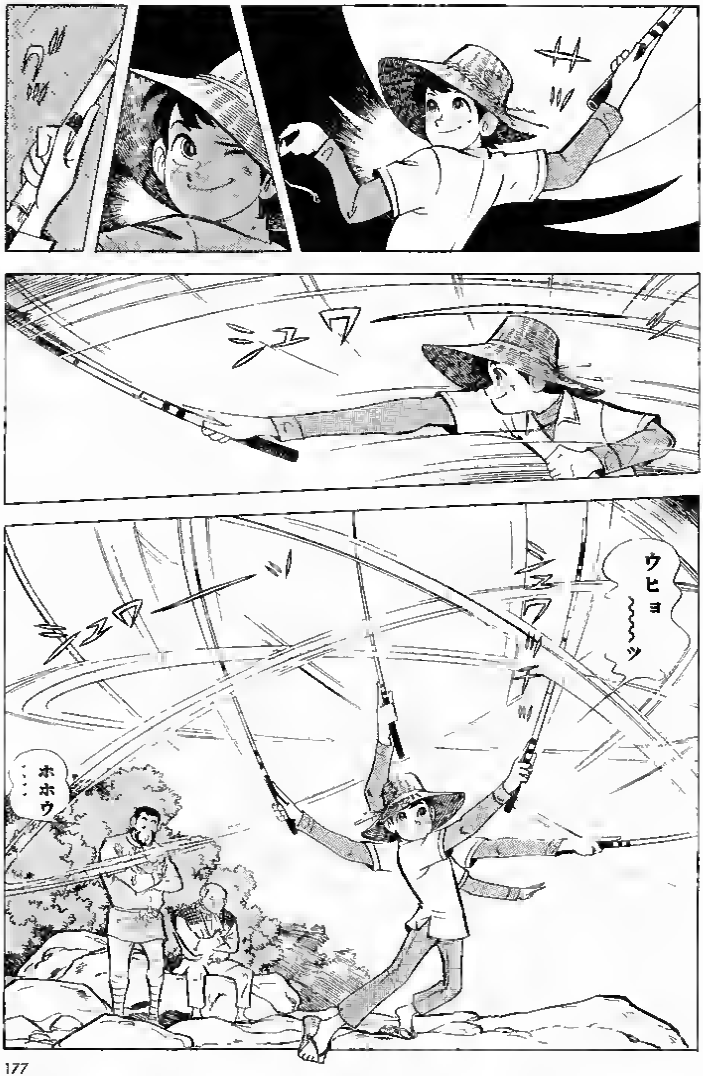
じいちゃん
すげえや
印篤継ぎ
でねえか



カーツ
バカ長い!!
やっぱし
こいつは
物干竿だち

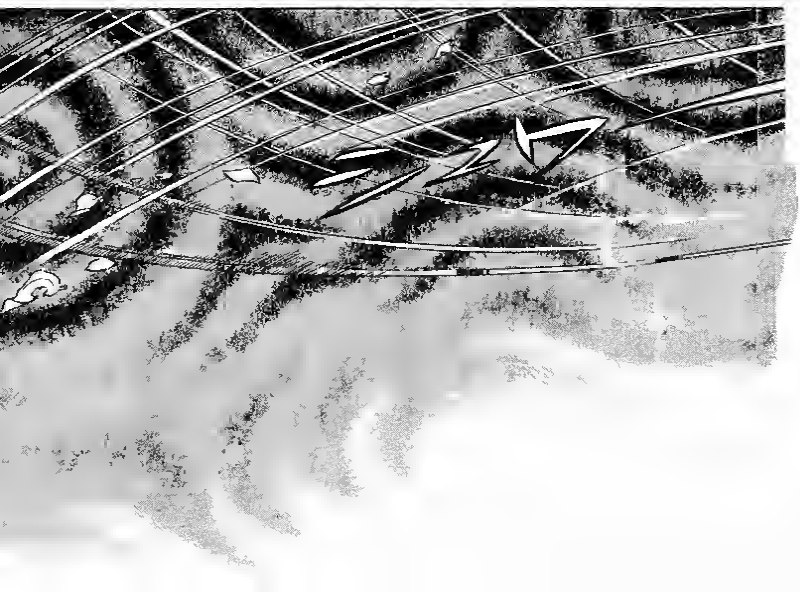

キュルル

ウーム
どうじゃ
三平
にぎり
ぐえええは
……
じいちゃん
こりゃあ
最高だ
かるくて
とても
五間竿とは
思えねえだ……
あったりめえ
だべえ
ありったけの
材料の中から
よりすぐった
竹でこしらえた
もんじゃから
なあ
それよか
おめえのからだで
その長竿を
振りきれるかな
このかるきだもん
だいじょうぶさ
ためしに
いっちょう
振りまわして
みるか!!


ウヒョ〜〜ッ
ホホウ……

らくにいけるでねえかワッパ
クッ
左隣岩魚か……
!?

あいつのすみ家はあの大岩の下のエコ…
ようし



ワシバ
穂先を
左膳岩魚に
むけおったな
たのもしい
やつじゃて
なんじゃ
その左膳岩魚
とかいうやつは
……
いま
おめえの孫が
挑戦状を
たたきつけた
大岩魚じゃ
この
鳴神淵の
男滝 女滝に
はさまれた
あの大岩の
下のエコに
すむ
あらかた
一メートル
あまりの
片目の大岩魚
じゃ
ホホウ
やっぱし
そうだった
のけえ……
おおかた
こんな
こっちゃろうと
思ってきたが
案の定じゃな
案の定……って
おめえ
左膳岩魚の
ことを
知っとるの
けえ
ポカン

うんにゃ
知るわけが
あるめえ
ただ
このまえ
おめえに注文
された竿を
つくってるとき
ふっと 気になった
ことがあったのさ
なんだとす
三平くんが
とどけてくれた
竿をつくってる
ときにけえ
んだ…
ひょっと
したら
そうとうの
大物を釣るん
じゃねえかって
な…

はて…
おら あんとき
竿の注文以外
なにもも
しゃべった
おぼえは
ねえぞ
よく思い出して
みろ…

おめえは
そういって
注文に
きただ
そんな
ことを
いったかなあ…

おめえほどの
岩魚釣りの
名人が
あんな注文を
してくるからにゃ
そうとうの大物を
釣るためとしか
考えられねえ

おい 一平!!
おめえの腕を
見こんでの
相談じゃが
先調子で
なるべくゴツい
じょうぶな
やつを
一本たのむ
よけいな
かざりなど
いっさい
つけんで
ええぞ!!

そう考えているうちに……
ひょっとしたらその大物は夜泣谷の中でもいちばん大きいこの鳴神扁にすむやつじゃねえだろうか……って考えになってのう
うーむおめえはなにかにつけて年季みてえにおらんとこき釣りにきたから
この谷のことはすみからすみまで知ってるもんなあ……

フフフこの谷なら手にとるようにわかるて
おめえとはずっとむかしからの釣り友だちだからなあ
そんでもし その鳴神扁だとしたら足場はたったひとつしかねえ
よーくおぼえとるタハーッ

いまおらたちがいるこの大岩だ……
じゃがこの岩からだと淵がひろくてふつうの二間半の竿じゃ心もとねえ……
むしろ常識はずれの長竿のほうが使いでもうろう……てなことを考えてな

カーッ
おめぇってやつぁ
なんぼ年とっても
釣りキチだなや
そんで あの
物干竿なんちゅう
ベラボウに長い
竿をつくった
ちゅうわけけぇ
そういう
ことじゃ
フフフ
血は
あらそぇねぇ
もんじゃな
・・・
おめぇの
孫も
まるっきり
おなじことを
考えよったただ
ガハハハ・・・
見れ
あのタイド
さっきから
エコに目をむけた
まんま ピクリと
うごくもんでねぇ

フフフ
てえした
ワッパよ

三平…
ほっとけ
ほっとけ もう
なにいったって
耳にはいる
もんでねえ…

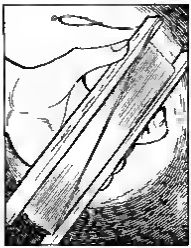
それよか一平
ひさしぶり
じゃから
おらの家にいって
いっぱい やるべ
おほっ
そいつぁ
ありがてえ

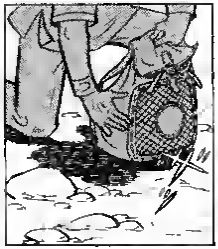
例の猿酒を
ごちそうして
くれるけえ
きまってるべ
ガハハ…

だが
待てよ
じいちゃんの
おかげで
思いどおりの
五間竿を
手にしたが

こっから
エコまでは
二十メートル
ある…
じっさいに
テグスをつけて
理屈どおりに
あのポイントさ
うちこむことが
できるだろうか
…

考えてるより
じっさいに
やってみる
ことが
さきだな…





パタパタ
矢口釣りコーナー
蛇口にミチ糸をつけるときはこうすると便利だぞ
ミチ糸のはしを輪にもうす
その先端にもうひとつ小さく指でつまめるくらいの輪をもうす
この小さな輪が便利な役目をする
グラスロッドなどの蛇口
① 輪をとおす
② 糸巻きをとおす
③ ひきしめる
④ はずすとき小さい輪をつまんでひくとかんたんにはずれる
一平竿の蛇口
強いアコ糸の先端にコブをもうんでいる
① ミチ糸をチチ輪にして蛇口をとおす
② ひきしめるとコブのところでとまりぬけない
③ はずすときはつまんでひく
一平竿の蛇口のばあい輪に糸巻きをとおす必要がないだけかんたんだ ためしてごらん
これでよし……と

練習だからハリはつけないでカミツブシのオモリだけにしておくべえ
ようしエコを目がけて……

トヒョ〜〜ッ
あさっての方向さ
とんでいったか
……
はじめだから
しかた
あるめえ
……

こいつが風をうけて方向がくるうのかもしれねえ
ようし 羽根をはずしてみるべ
竿ばっかり長くたってエサをかくじつにポイントさうちこまねえことには なんの役にもたたねえ
ハラハラ
!!

ハハハハ
そうけえ
そうけえ

まるっきり
ものが見えねえ
ぐれえ夢中に
なったのけえ
たしかに三平は
そういうところが
あるだ

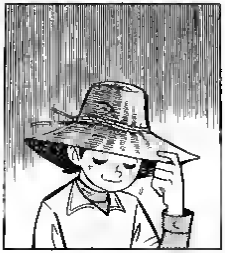
まったく
もって
あの目は
おめえに
まきるとも
おとらねえ
釣りキチの
目じゃて
あのぶんだと
ひょっと
したら
釣るかも
しれねえぞ
いやいや
そんだ
あまいもん
じゃねえ

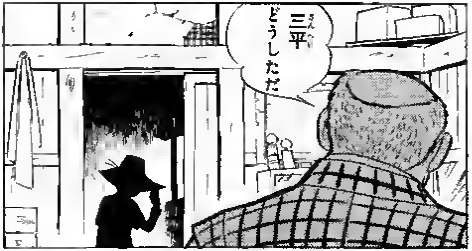
もうすぐ
泣きっツラ
さげて
もどってくる
はずじゃ
物干竿の
振りかたの
むずかしさが
わかってな
…

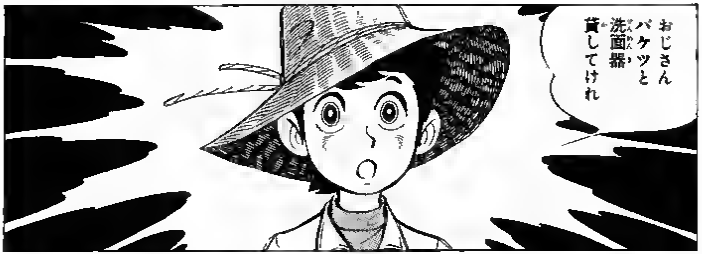
うーんおらも
そこが
とこが
心配だが
あの
ワッパならば
なんとか
くふう
してやると
思うがな
…

まあ…
どっちにした
ところで
三平にとっちゃあ
いい勉強だな

一平!!
のめよ
おめえ
さっきから
話さ夢中で
さっぱり
のまねえぞ
そんただ
ことはねえ
おら 酔っ
ちまっただ
ところで
銀次…
夜泣谷ダムの
ほうは どう
なってるだ
やっぱり
できそう
けえ
心配するなて
おらの目ン玉の
黒いうちは
ぜったい
つくらせねえ
!!
夜泣谷を
つぶされて
たまるけえ!!
銀次 なにか
こまった
こと
あったら
相談して
くれ
力に
なるぞ
うれしいことを
いってくれるぜ
このジジイ
トヒョッ
ン!?




三平
どうしただ


おじさん
バケツと
洗面器
貸してけれ

やぶから
ぼうに
なんちゅう
ことを
いうだ ワッパ
そんただ
ものなら
台所さあるべ
…んだども
なにさ 使う
のけえ

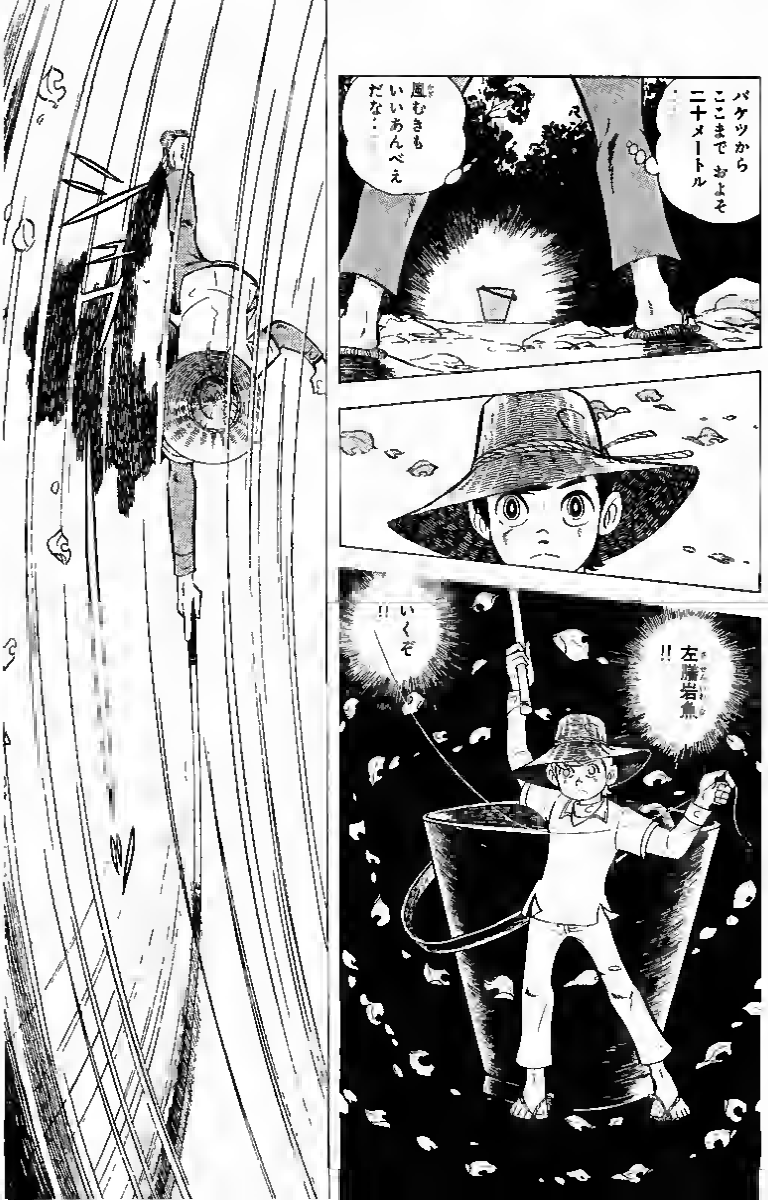
三平
……

おいワッパ水なんかくんでなにする気だ
フフ銀次声なんかかける必要ねえだ
あの物干竿が思うように振れなかったんで頭さきてるんだ
やっぱし……
んだどもバケツや洗面器さ水なんかくんでなにするつもりだべえ
チラッとのぞいてみるか
ムッ

フフフ
どうやら
気づいた
らしいな
竿と糸が
長くなれば
エサの
うちこみが
不正確になる
ってことに……
なるほど
そんで あの
バケツを標的に
ポイントうちの
練習をしようっていうわけか
おらたちも
わけえころは
よく ポイント
うちの練習を
したもんじゃった
な 一平
ケッへへ
そんなことも
あったな

シュワー
ヒュ
ポトン
おい一平
一投目にしては
だいぶ近いな
まだまだ
一メートルは
はずれとる…
ポイントうちの
練習は
さだめた標的を
かくじつに
うちこむ
ためのもんじゃ
バケツを
標的ときめたら
あくまでも その中を
うちこまねばならん
しかし
なんぼなんでも
きびしすぎる
なあ
なあに
三平のやつあ
ふつうの二間半の
渓流竿なら
あのバケツなんぞ
らくに うちこめる
腕をもっとるて
ただ あの
常識はずれの
物干竿に
苦労してる
のよオ…

うめえこときまらねえな……
こんただかるい竿なのにやっぱしおらのからだにあわねえのかなあ……
!?
ひょっとしたらテグスをこの風さのせたら……らくにとぶんでねえべか
風だ……
ようしこいつを風下さおいてみるべ
このへんだな……


バケツから
ここまで およそ
二十メートル
…
風むきも
いいあんべえ
だな…
左旋岩魚
!!
いくぞ
!!

ヒュルルル
ボチ
!!
!!
やった

どさん中さはいってる……
この呼吸をわすれねえで百発百中にしなくちゃあ

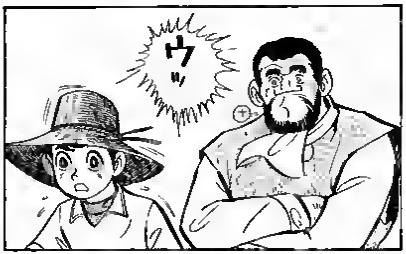
ワッパみごとじゃねえか
なーんだじいちゃんに銀次さん見てたのけえ!!
三平……おめえの釣ろうとしとる左藤岩魚のことは銀次から聞いた
じゃがいまのことぐれえでよろこんでるようじゃあ左藤岩魚はムリじゃろう

ムリ……!?
なしてよじいちゃん
左藤岩魚は年もこけてるしそれだけに警戒心も強いはずじゃ……

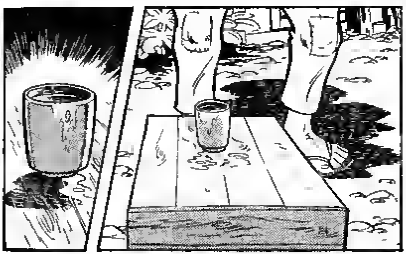
じゃから
ポイントも
針をつくほどの
もんじゃろう

三平!!
バケツじゃ
でかすぎる
な……

ポイント
うちの練習は
これで やって
みろ…


ウ!!

じいちゃん!!



じいちゃ
いくぞっ
!!

よーし
ここだぞ
ここを
ねらうん
だぞーっ
おらの鼻アナ
なんかに
ぶちこんだら
しょうち
しねえから
なーっ

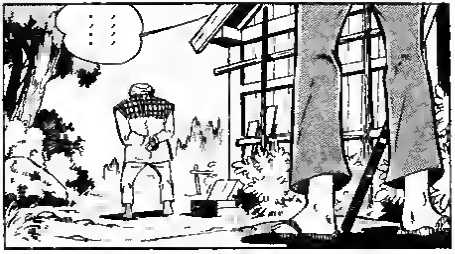
ヒュルルル
ストン
だんだん近くなるでねえか
クッ

だめだなあ
わずかのところ
なんじゃが
カーッ
あいかわらず
きびしいのう
一平
おしいなあ
もう ちょっと
だったのに
うめぇこと
いかねえな
三平
どれ
わしに
貸して
みろ
竿を
にぎる手に
力がはいり
すぎる
ようじゃな
竿をにぎるには
小指が いちばん
たいせつ
なんじゃ
小指一本で
ギュッと
にぎり
しめ
ほかの指は
かるーく
竿をささえる
ていどでいい
ガッチリ
にぎりすぎると
手首が
思うように
きかねえ
ホラみれ
かるーくにぎると
このとおり 手首を
自由にうごかす
ことができる・・・

ちょっくら
はなれて
見てろ

あ!!
どうでえ
わかったか
なんのこたあ
ねえ…
黒のみは
小さいもんじゃ
ちゅう考えを
すてるこっちゃ
ジッと
見てると
あれでも
でかいちゅう
気がしてくる
もんじゃて
潮流にかぎらず
ポイントにかくじつに
エサをうちこむことは
たいせつな技の
ひとつじゃ
これが
できると
できねえとでは
釣果に大きく
ひびいてくる
できるまで
練習しろ
んでねえと
左膳岩魚を
釣ることは
むずかしいぞ

やっぱし
すげえや
おらの
じいちゃんは
……


……
……

ワッパ
なんちゅう
ツラして
るんじゃ
銀次
おじさん
!!

そんただ
なさけねえ
ツラするで
ねえ
おめえ
らしくも
ねえて……

んだって
目の前で
あんただ すげえ
技を見せられりゃ
だれだって
ガクッとくるべ

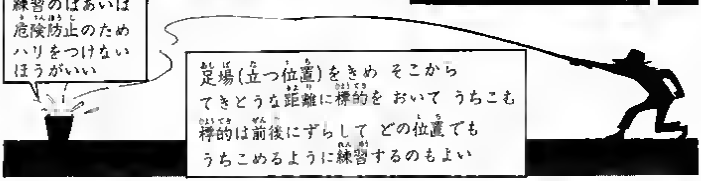
ワッパ
おめえ
弱音を
はいたな
そんじゃあ
左膳岩魚を
釣るのは
あきらめる
ちゅうのけえ
エッ

おめえが
釣らねえなら
おらが
やるまでだな
イヒヒヒ
おじさん
おらなにも
そんなこと
いってねえだ
!!

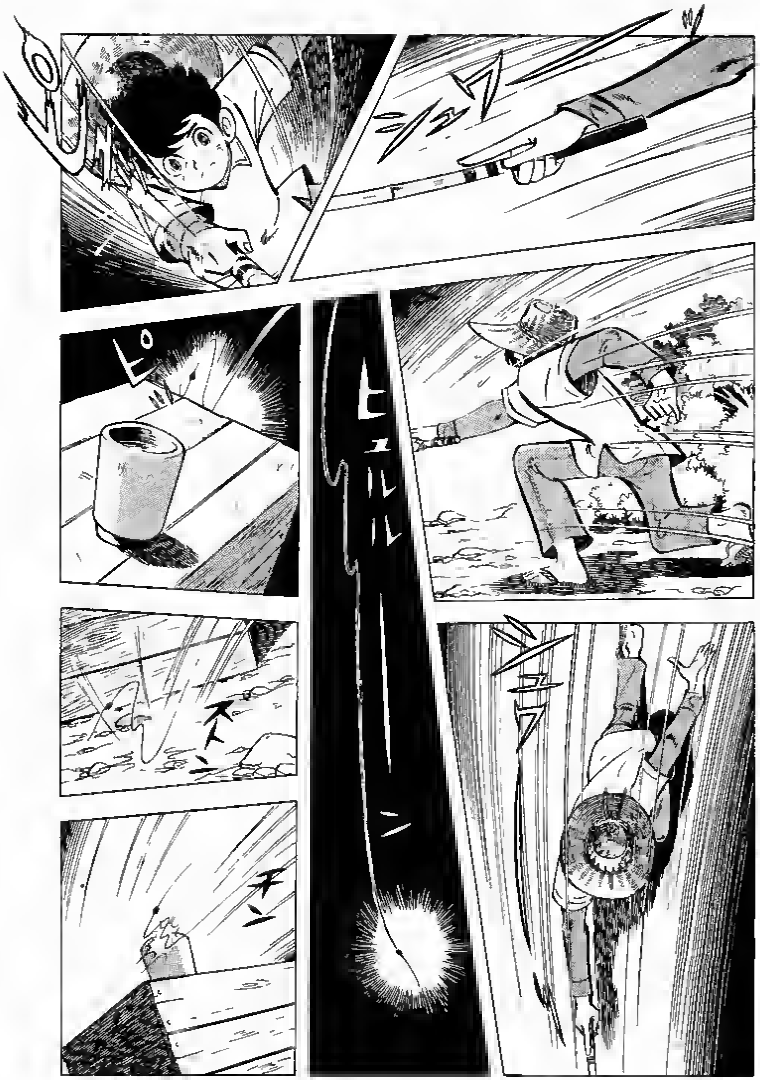
約束がちがうじゃねえか
ガハハそうけえそうけえ
そんただなさけねえツラはやめろ
ワッパいいことを教えてやろう
ちょっくらこい!!
いいか鼻のみはたしかに小さいが
小さいと思うからいけねえ……
こんなでっけえ輪だと考えて…
そのまん中さうちこむつもりでやれば意外とかんたんなもんじゃ
なーるほどじいちゃんもおなじことをいってたが……
とにかくポイントうちがうまくなるには練習しかねえ
腕がいたくなるまでなんべんでもやってみるこっちゃ

ポイントうちの練習

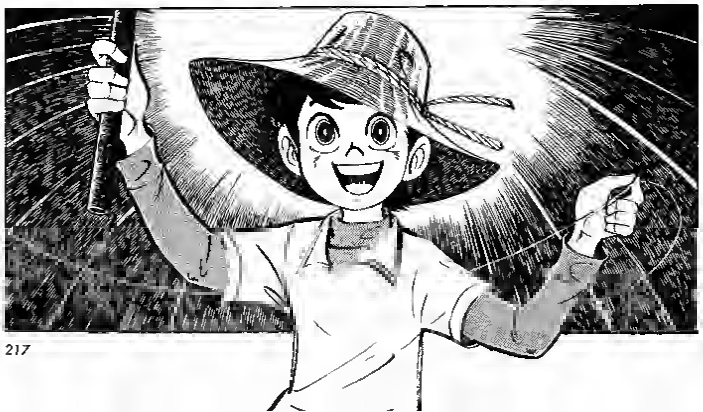
ポイントうちの練習とは魚のいるポイントにかくじつにエサをうちこむためのつり技の練習だ
魚や川にかぎらずせいかくにポイントにうちこめる腕をもつことはそれだけ多くの釣果をえることにつながる



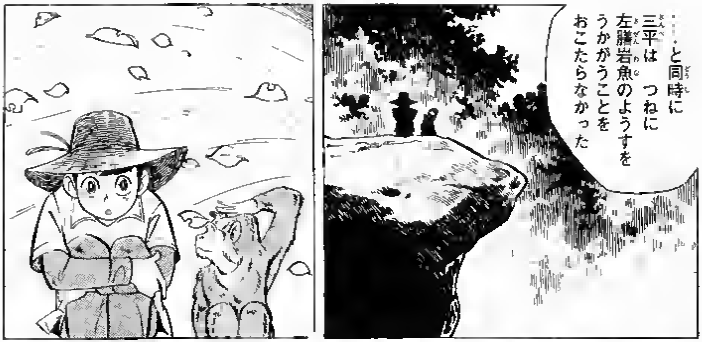
ストン
フーッ
そんただこっちゃ
左腕岩魚は
釣れん
なにごとも
練習じゃ
扇のみは
小さいという
考えを
すてろ
腕のいたく
なるまで
やってみる
こっちゃ


ヒュルルル
ン

ムッ
!!
左膳岩魚

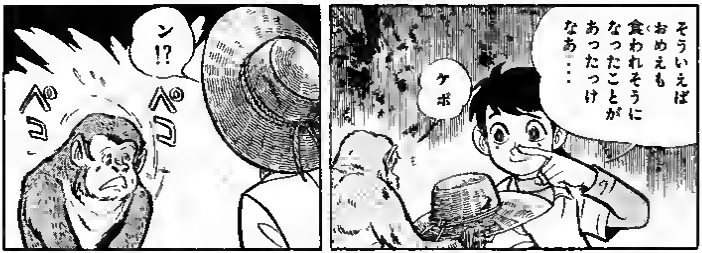


カーッ
まいった
まいった
ガラッ
どう
しただ
銀次
おら
たまげただ
ワッパめ
ついに鳥のみに
うちこみ
やがったぜ
しかもだ…
十回振って
三回は
かくじつに
うちこんで
るだ
フフフ
そうけえ まだ
たりんなあ
三平の
ポイントうちの
練習は
やすみなく
つづけられた
十回のうち
七回は
きめねえと
なあ…


……と同時に
三平は　つねに
左膳岩魚のようすを
うかがうことを
おこたらなかった

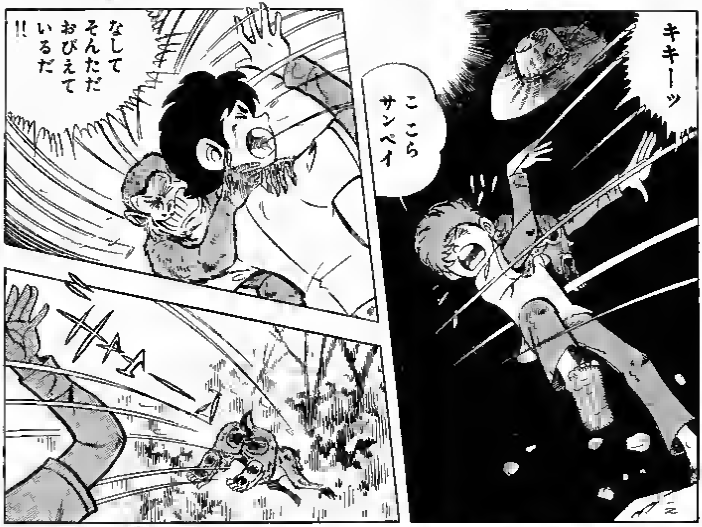
左膳岩魚……
どんな　エサが
いいのかなあ

タヌキを
ひきずり
こんだ
そうだが
…
タヌキを
エサにする
わけにも
いかねえし
…
ウキキーッ


そういえば
おめえも
食われそうに
なったことが
あったっけ
なあ…
ケボ
ン!?
ペコペコ

こいつめ
エサにされるかと
思って心配して
けったるのけえ
バーカ
ハハハハ
おらたちは
三平 サンペイの
なかじゃねえか
そんただ
ざんこくなまねが
できるけえ!!
ウキーッ

ここらよさねえか
ウキキ――ッ
サンペ
サンペーッ
ウグッ
どうしただ!!
ウキ〜〜ッ
なにかエコのほうにかわったことでも…!!


キキーッ
こころ
サンペイ
なして
そんただ
おびえて
いるだ
!!

ヤギ
クヘヘヘッ
いってえ
どうしただ
あいつ…
さかんと
エコのほうを
指さしていた
ようだったが

ケッ
てっきり
左腰岩魚でも
出たのかと
思ったのに

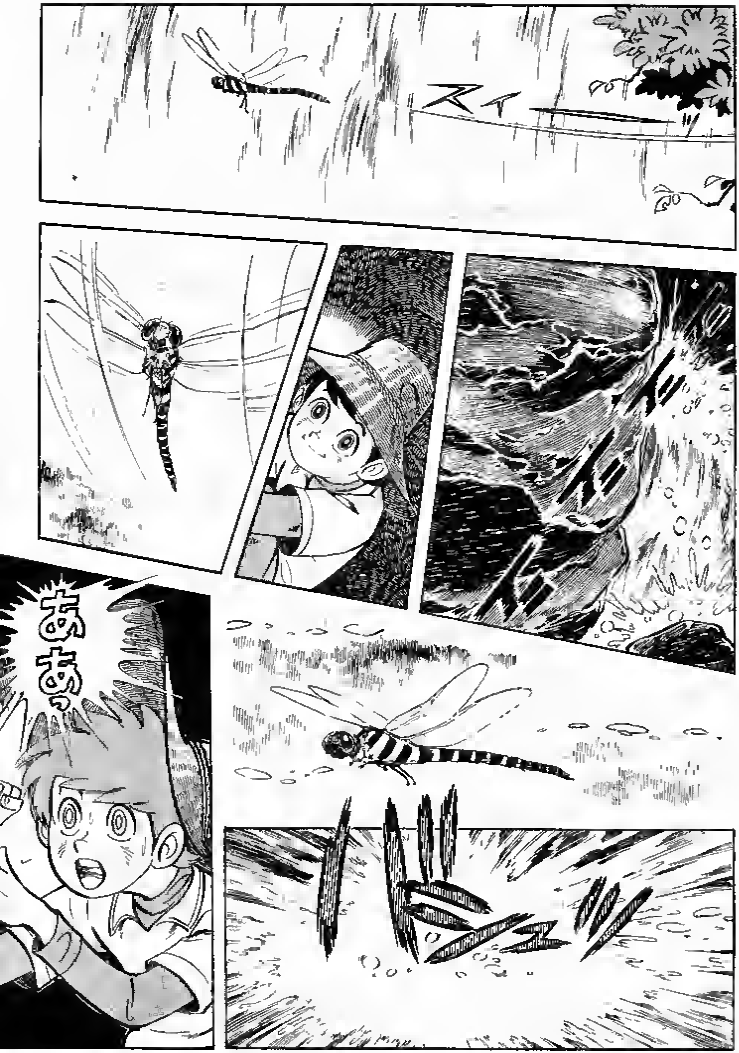
フーッ
ばかみたよ
ひとさわがせ
な
エテ公だなあ

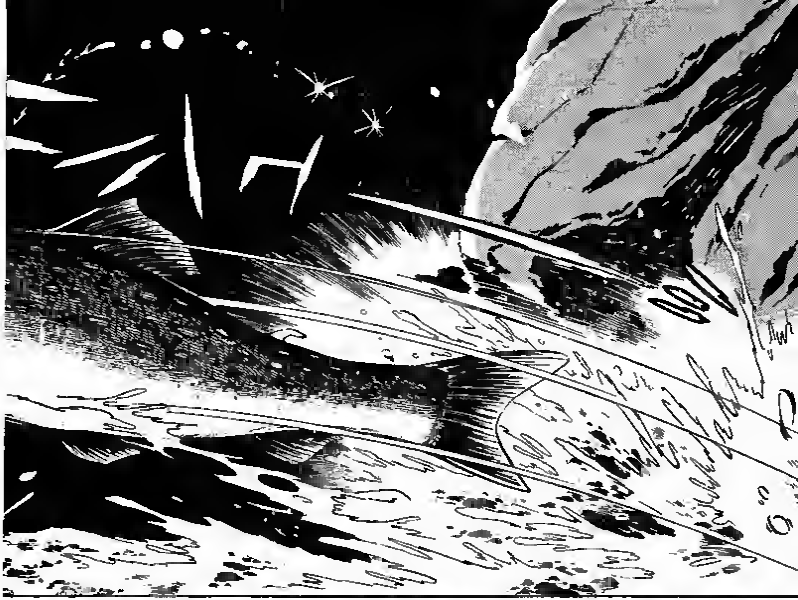
ガタガタ
して
損したよ
……
あーあ
ハラへった
!!

なーんてぇ
一つに
かわったことも
ねえじゃ
ねえか……

ピ
ヒョロロロー
トンビも輪をかいているし
カワガラスだってとびまわっているし
ガガーッ
流れはすんでるし……
オニヤンマだってスイスイで……
のどかなもんじゃねえか……
まーったくひときわがせなエテ公だよ
しゃくにさわるなあ

ヤンマの水あびか…
気持ちよさそうだなあ…


ヒュ
ドド
ドド
ドド



さ
左膳岩魚
が……
オニヤンマを
食らいおった
……

やっぱし……
あのエコから
とびだし
ざまに
……

ンッ!?
……と
いうことは
……
オニヤンマを
エサにして
あのエコに
うちこめば
……
いや
……
水中に
うちこむん
じゃねえ……
空中に
うかせて
ヤツに
食らいつかせる
……
これだっ
!!
左腰岩角を
釣る手は
これしかねえ
!!

ヒャッホーッ
やるぜ
見てろ!!
オニヤンマが
空中にういてる
うちが
勝負だっ
クソオ
こいつあ
いいや
ウッ
なーんだ
おめえかあ…
いきなり
とびついたり
して
左藤岩魚
みてえな
やつだな…
おいサンペイ
なんぼ同名の
よしみだか
しらねえども
おらの
釣りを
じゃまするのは
よくねえぞ
なんでえ
さっきの
タイドは

クウ
カ〜〜ッ
こう すなおに
あやまられると
おこるにも
おこれねえ
まったく
へんな
エテ公だよ
おめえは
ン!?
ウキーッ
サンペ
サンペ
!?
ケポ
ケポ
ウキーッ
ウッ!!
も もしか
したら……
こいつ
さっき
あのエコから
左隣岩魚が
エサに
とびつこうと
してるのを
感じてたと
いうのけえ
ウキッ
そ
そうだった
のけえ

……
そういえば
動物には
ふしぎな
能力があると
いうことを
聞いたことが
ある……
大地震や
津波などの
天災が
おこる前に
いちはやく
危険を感じて
安全な場所に
のがれるという
……
こいつも
人間のおらたちにも
感じねえものを
感じるのかも
しれねえ
ましてや一度
左藤岩魚に
それれたことが
あるだけに……
そろしい
私気のような
ものを感じる
のかもしれねえ
ひょっとすると
サンペイは
左藤岩魚の
探知機の役目を
してくれるかも
しれねえぞ
ポ～

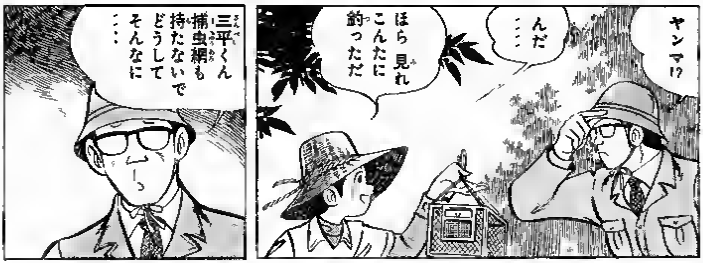
フフフ
こいつあ
おもしろく
なって
きたぞ
……
いそがしく
なって
きたぞオ
……
一平!!
木がたおれる
ぞーっ
おう

すまねえな 炭材の 切り出しなんか 手つだわせたり して…
なあに
ここらで いっぷく するべ
ワッパは どうしてるだ
なんのまねか 知らんが オニヤンマを 釣るとぬかして 出かけて いっただ
オニヤンマ……!?
んだ なにか 考えあっての ことじゃろう
もちろん そうだべ
あの ワッパの することじゃ ヤンマ釣りが ただのあそびとも 思えねえ
ポイントうちだって あれよあれよという間に 湯のみさうちこむ 腕になっちまった ワラシじゃ
こりゃあ うかうかしてたら ほんとに 左膳岩魚を 釣ってしまうかも しれねえな
フフフ そんただ あまいもんで ねえべ…

スィ
ブルルル

ホレ
いっちょう
あがり
フフフ
なるたけ多く
釣っておくべ

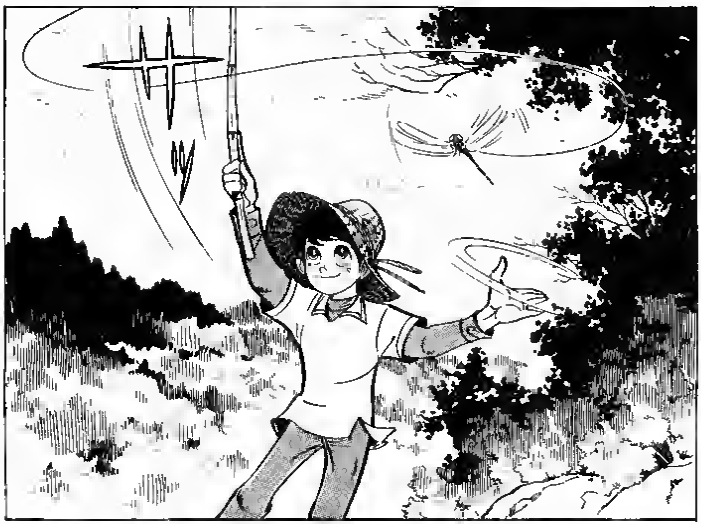
やあ 三平くん きょうは なにを 釣ってるんですか
黒沢さん!!
ヤンマ 釣ってるだ

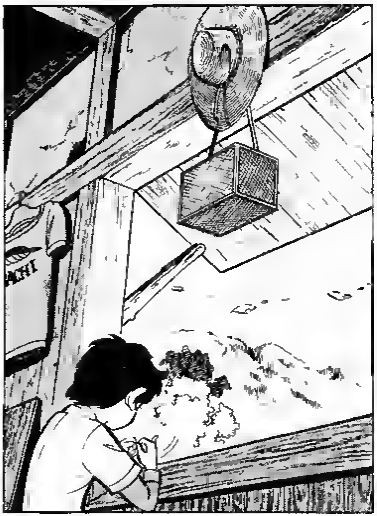

ヤンマ!?
んだ……
ほら見れ こんたに 釣っただ
三平くん 捕虫網も 持たないで どうして そんなに……

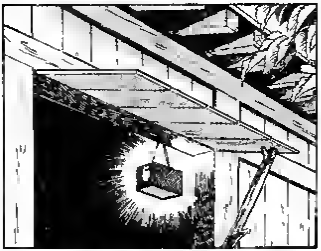
ハハハハハ ヤンマ釣るのに 網なんて いらねえだ
はあ!?
見れ メスのヤンマを 一ぴきつかまえて 糸でむすべば なんぼでも とれるだ!!

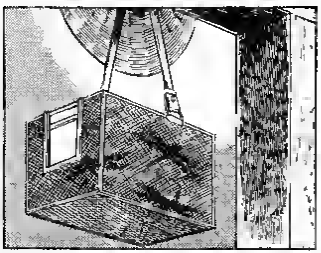
ほら
むこうさ
オスヤンマが
とんでいくべ
ちょいと
釣ってみせる
からな
……
!!
ああっ
まあ
ざっと
こんだ
あんべえだ

なるほど
ヤンマが
交尾(こうび)して
はなれないで
いるところを
すばやく つかむ
わけか……
でも
そんなに
ヤンマあつめて
どうするの？
へ〜〜〜
……



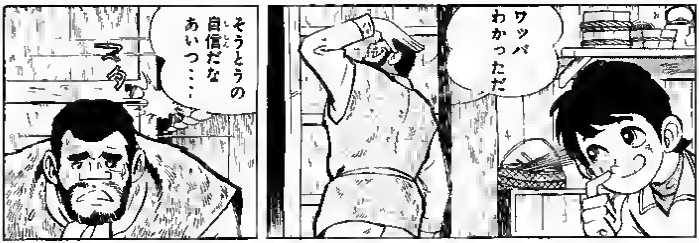






チョキ
よしっ…と
なあ ワッパ ちょびっとぐれえ 救えろよ
どんだ手で 左団岩魚を 釣るつもりけえ
なーんにも かわったこと するつもりは ねえ
ハリさ エサつけて 釣るに きまってるべ
クッ
ヤンマを エサにして けえ…

おじさん
おじさんは たしか
左蝉岩魚は
おらにまかせると
約束したよな
もちろん
約束
しただ
そんなら
あんまし 気を
もまねえで
おとなしく
見ててくれや
ク〜〜〜ッ


ワッパ
わかっただ
そうとうの
自信だな
あいつ……
つ〜ん

ひょっとしたら
本気で
左蝉岩魚を
釣りあげ
ちまうんで
ねえのかなあ
一平
竿や網なんか
出して
おめえ なに
してるだ

うん…
三平のやることを
見てたら
おらも その
左膳岩魚釣り
とやらに
参加したく
なってな
バカこけ
そんただこと
したら
ワッパに
おこられるぞ
おら
いましがた
キッパリ
ことわられて
きただ

あんまし
気をもまねえで
だまって見てて
くれ…だと
まいったなあ
えらそうな
口をたたくで
ねえか…
うんにゃ
一平
ワッパの目は
そうとう
自信の
ありそうな
目じゃったぞ

フフフ
じゃが
しょせんは
ガキの
カラいばりよ
その証拠に
おらたちに
きてくれと
さいそくして
いきおった
わい…

うんにゃ
おらにゃあ
手出しは
できねえ
ワッパとの
約束
じゃから
な…
ン？

おら これから 鳴神岩さ いこうと 思うが
おじさんたちも いっしょに いくけえ…
ワッパ いよいよ 左膳岩魚と 対決けえ
まあ そんただ おおげさな もんじゃ ねえけど
ちょっくら ためして みるべと 思ってな
いそがしけりゃ むりに こなくても いいよ
いいや べつに いそがしいって ことも ねえけど
きたくなきゃ こなくっても いいさ
そのかわり…

もし おらが 左腕岩魚を 釣るような ことがあっても だれも 証人が いねえという だけのことだ
ポカン
ほんじゃ
いくぞーっ 兄弟!!
キキ――ッ
ウキキッ
どうする 一平 いって みるか
フフフ 心配だったら おめえ 先に いってくれ
そ そうけえ ほんじゃ いくぞ
おめえも なるたけ 早く こいよ
フフフ 銀次のやつ だいぶ 気を もんどるな

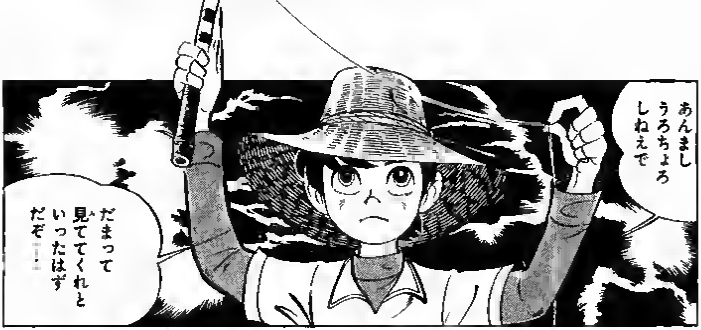
さてと……
三平のやつがいよいよ大岩魚を釣るというのなら……
こんなやつもかならず役にたつはずじゃ

おう
一平か
おそいじゃ
ねえか
どうでえ
三平のほうは
ク〜〜〜ッ
どうしたも
こうしたも
あきれてしまって
ものもいえねえ
見れ
あのタイド
ああして
芋をにぎった
まんまで
もう一時間
ちかくにも
なるだ
ホホウ

なにが
ホホウだ
こうして
見てる おらの
身にもなって
みろて…
胃袋が
いたくなる
思いだ
まあまあ
おちつけ
銀次!!
おちついて
なんか
いられるけえ

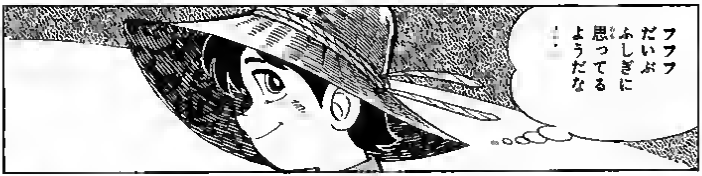
ワッパは いま
岩魚釣り
してるんだぞ
たんぽのカカシ
じゃあるまいし
ボサ―ッと
つっ立ってる手は
あるめえ
竿の
ひと振り
ふた振り
したって
いいじゃ
ねえか!!
シーッ
しずかに
しろて
なにか
作戦でも
あるんじゃ
ねえか
バカこけ 竿も
うちこまねえで
魚が釣れる作戦が
あったら おせえて
もらいてえ
もんだな…

なあ 一平
どうも心配で
いけねえ
ワッパにゃあ
この岩から前に
出るなと
とめられてるが
ちょびっとだけ
ようすを見に
いってみるべ
腸ネンテンか
脱腸にでも
なって
うごけねえで
いるのかも
しれねえ
からな
フッ
やれやれ
そーっと
しずかに
……
おい ワッパ
なしてだまって
いるだ
早く
やらねえ
けえ
からだの
ぐええは
だいじょうぶ
けえ ……


あんまし
うろちょろ
しねえで
だまって
見ててくれと
いったはず
だぞ!!

だまって
見てろと
いったら
そうすれば
いいだ
ししかし
なんぼ
なんでも

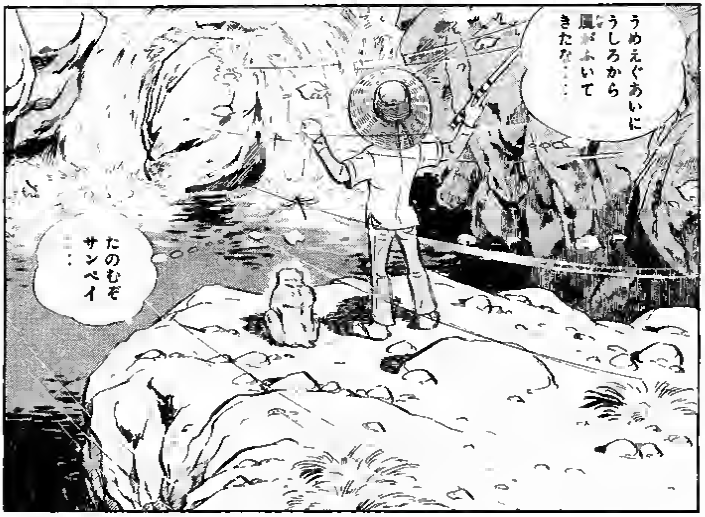
そうれ
いったで
ねえか
ククッ


フフ
だいぶ
ふしぎに
思ってる
ようだな
…

おらあ なにも
カッコつけて
つっ立ってるわけ
じゃねえだ
これが
おらの
左藤岩角を
釣る作戦だ

この猿の
サンペイの金冠が
あるまでは
竿を振っちゃ
なんねえだ…

左膳岩魚の
強い食欲を
感じた
サンペイが
おらに
合図をくれる
：
そのとき
!!
間髪を
いれず
エコをめがけて
竿を振る…
いってみれば
サンペイは
左膳岩魚の
探知機だ
こんな作戦は
じいちゃん
だって
気がつくめえて
：フフフ

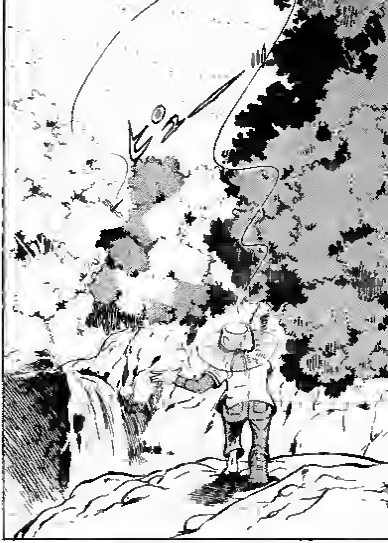

うめえぐあいに
うしろから
風ふいて
きたな…
たのむぞ
サンペイ
：

いつまで待たせる気だワッパ……
一平おらあくたびれてすっかりねむくなってしまっただ

ウキキー
おいっ
銀次(ぎんじ)!!
ン!?

キキーッ

ワッパ
うちこみ
おったか



そう
こなくっ
ちゃあ
おもしろく
ねえや
なあ
一平!!
ウップ

みごとな
もんよ
あの小さな
ワッパが
五間の物干竿を
まるで自分の
手足みてえに
あつかってやがる

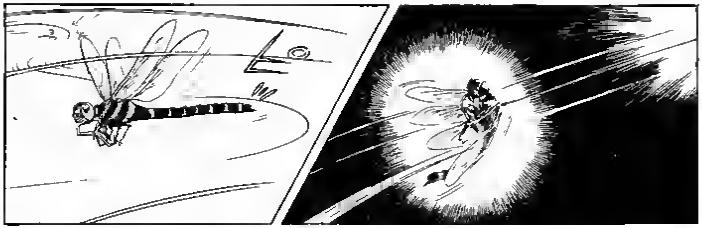
キキーッ
それにしても
奥次……
かしいと
思わねえか
なにがよ
……

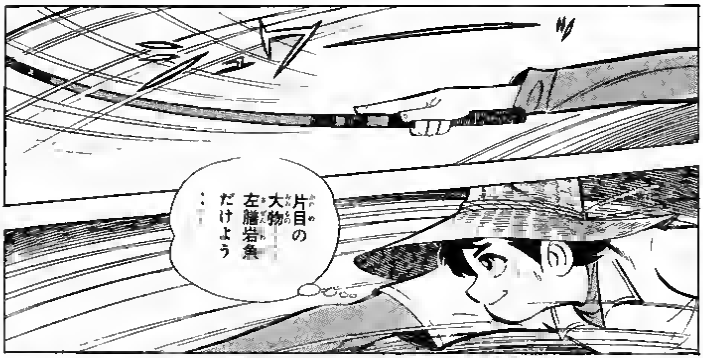
ウキーッ
ホッ
ホッ
ホレ見れ
あの猿……
いままで
三平のとなりに
ちょこんと
すわってたと
思ったら
きゅうに わめき
だしたりして
……

おおかた
ノミかダニ
にでも
たかられて
かゆいん
じゃろう

ドドド

ン!?
ワ ワッパ な なんてこと するだ
エサが まだ 水面に おちこまねえ というに ひきあげ おった……!?
フフフ おめえたち ザコには 用はねえ
おらが 用のある のは……




片目の大物 左腸岩魚だけよう……

ポイントはただひとつあのエコだ……

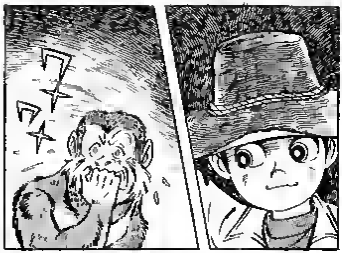
なーるほど
小物は
釣らねえって
ことけえ
フフフ
そういうこと
ねらいは
左腸岩魚
ただ一ぴきって
ことじゃろう

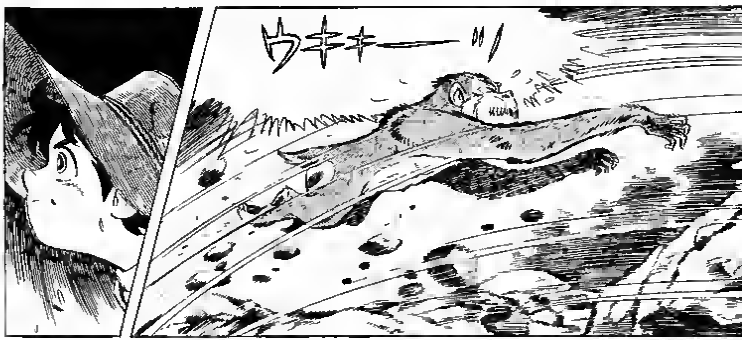
ありゃっ……!?
どうしただまたもどってきやがったわい
キキーッ
……
キキ
竿をひきあげたぞ
おおかたハリやエサのぐあいを点検するつもりじゃろ
クゥ〜〜ッ小休止けぇ
なんぼなんでものんびりしすぎるわい
!?

銀次 おらちょっくら小便がしたくなっただ
そのへんでやりゃあいいじゃねえか
フフフとはいってもひと前ではどうもな
ケベ!! こっぱずかしがらずそこらへんでやりゃあいいじゃねえか
フフフ
一平 じいさん……!!

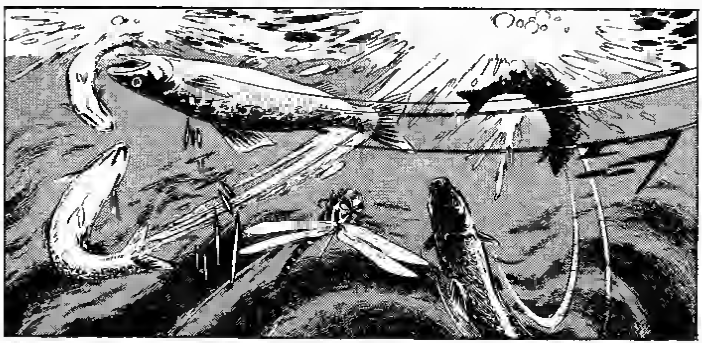
きゅうに肩をたたかれてびっくりしました
約束どおり嫁さんをつれてきたけえ…銀一くん
ハア嫁さんだなんてまだ婚約したばかりなんですよ
おう…そうじゃったな…
そんただテレねえで早く見せろよ…
ン!?
ホホウべっぴんじゃなあ…
明子…このかたが三平一平さんですよ
ユリタンタン
おうわさはかねがねうかがっておりました
明子ともうしますどうぞよろしくおねがいします

よくこんだ山の中までこられましたなあ
学校時代銀一さんとおなじ登山部だったんです…
ですからへいきでした…
…ということはそのころからおたがいにすきになったちゅうことかなあ…
コホン
一平じいさんそんなにひやかさないでください
とにかくこいつは結婚するまえにぼくの父にぜひ会いたいというもんだから…ハイ
だってまだ一度もお会いしたことないんですもの
銀一さんのおとうさまはどこにおられますか…
まあそんただあわてるなって…
わしにまかしとけわるいようにはせんから
なんぼガンコな父親でも話しあえばわかるじゃろ


ワナワナ


ウキキ——!!

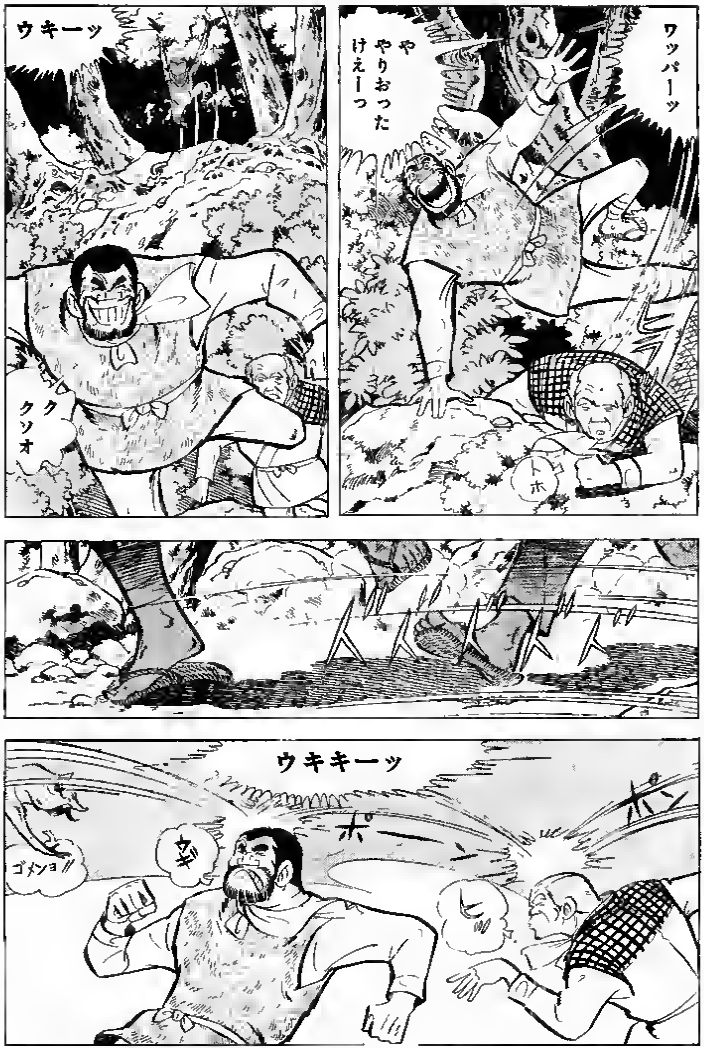
ムッ



きたっ
左膳岩魚
!!
銀次
どうした
!!
一平
小便にしては
ながすぎるぞ
見ろ!!
ク……
!!クソオ
おおっ

AIR

や
やったーっ!!
きたぞーっ
さ
左膳岩魚(さぜんいわな)が
ついに
きたぞーっ
!!
ワ
ワッパ
!!

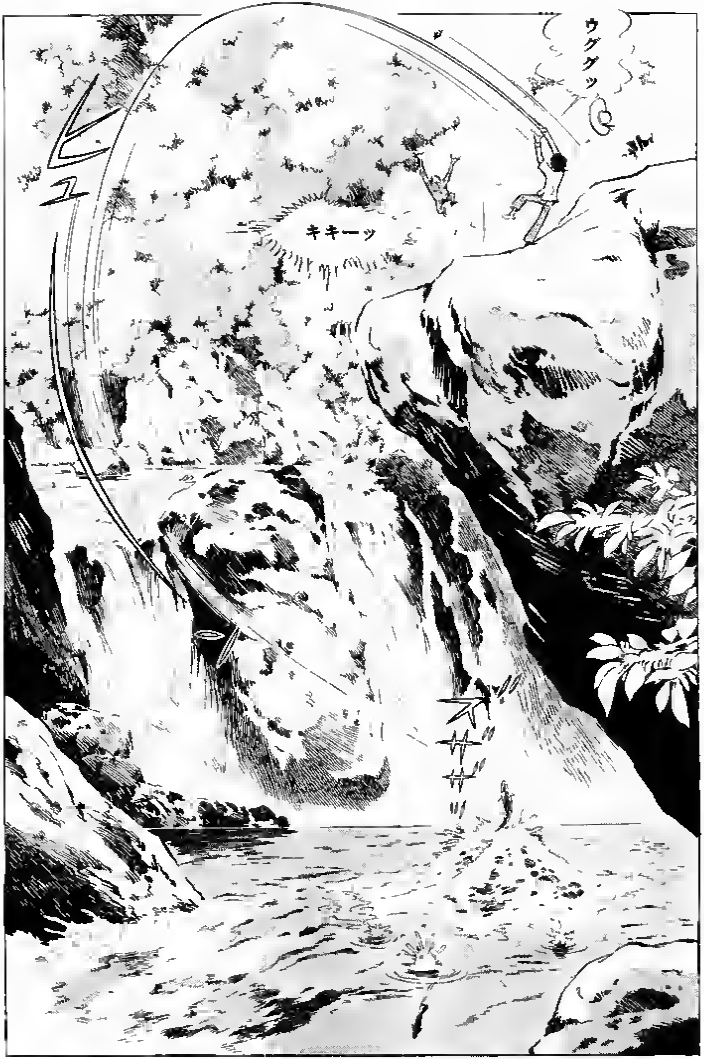

ワッパーッ
やりおったけえーっ
トホ
ウキーッ
クソオ
ウキキーッ
ポーン
ポン
ゴメンョ

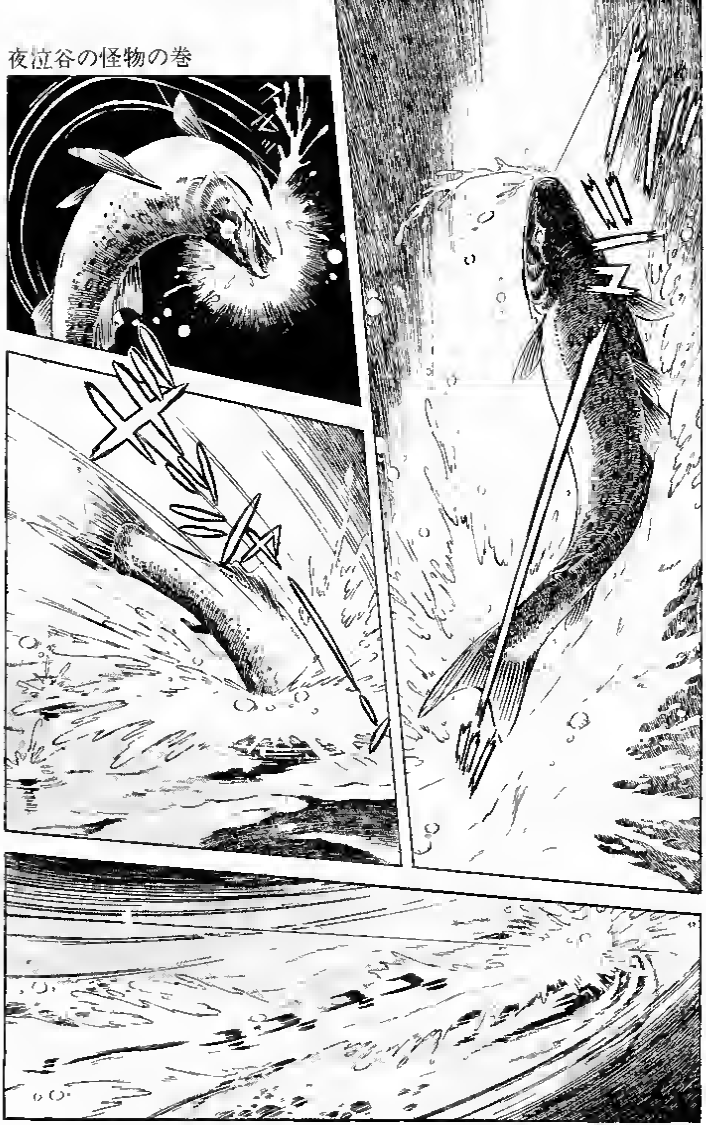
キキーッ
オサキ
あんのやろう!!
ククッ
ウキーッ
サンペ
サンペ

おっ兄弟(ブラザー)!!
あ ありがとうよオ!!
三平(サンペ)!!
ワッパど
どこでえ左隣岩魚のヤツあ どこであばれとるだーっ

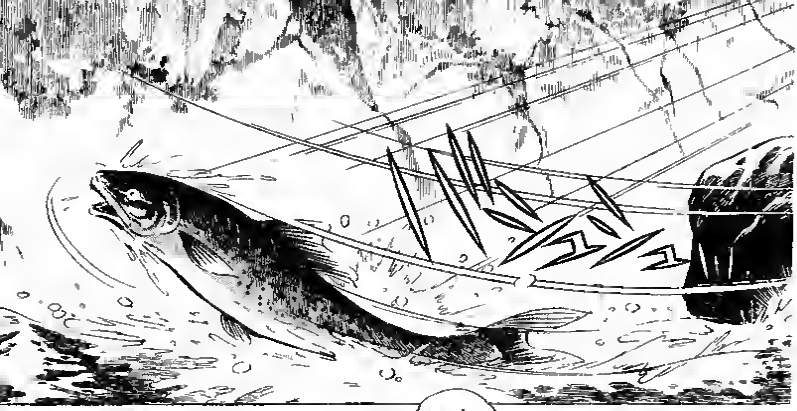
おめえ
ひとりで
でえじょうぶ
けえーっ
ナンノ!!
ククッ
じいちゃん!!
近よるなーっ
近よらないで
くれーーっ
しかし
おめえ
しかしも
ヘチマもねえ!!
左隣岩魚は
おらに
やらせるってえ
約束じゃ
ねえかーっ
さがれっ
さがれーっ
ウキキーッ
ストッ
ストッ
ピピ

手出しはごめんだーっ
おらひとりにまかせてくれーっ
銀次：しかたねえな 約束は約束じゃだまってはなれて見物するべ
カーッそんただ小意地のわるいことというなってワッパ
おおお
一平見ろーっ!!
あいつはまさしく片目じゃ左隣岩魚じゃーっ

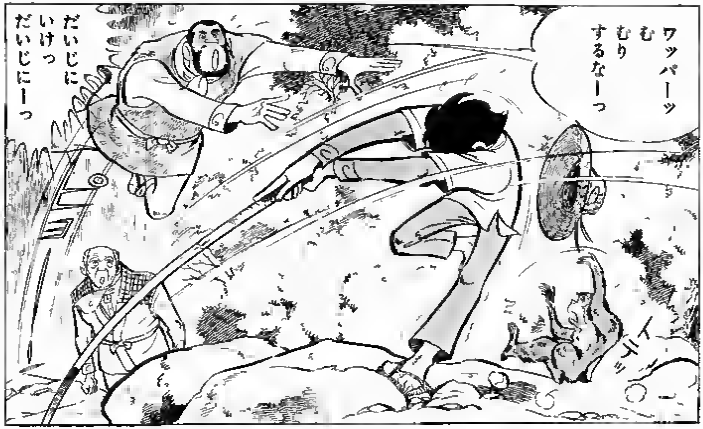

ウグッ
キキーッ



こ…このう!!
ウウッ



ウーム
しぶとい
あわわわわ…
きれる
テグスが
きれる
〜〜〜っ

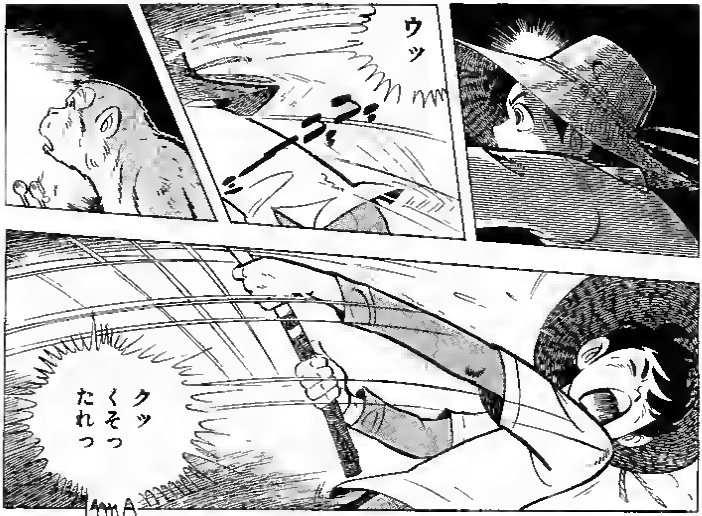

ワッパーッ
むむり
するなーっ
だいじに
いけっ
だいじにーっ

あったり
めえだべーっ
せっかく
かけたのだーっ
し死んでも
バラさねえ
ぞ——っ
よーし
その調子
じゃ
ひかれたら
糸をくれろ
ソレッ
ソレーッ
それっ
手前に
むかった
ぞーっ
しぼれーっ
竿を
うーんと
しぼれーっ

ワッパ
そこだ
そこだ
相手が
よわるまで
百時間でも
千時間でも
がんばるだ
ぞーっ

おじさん
すこし
だまってて
くれーっ
そんただ
バカ声じゃ
耳がつぶれて
しまうだ

ガクッ


ウッ
クッ
くそっ
たれっ

ムッ
こりゃあ
いかん
ズズーッ
17ン
ウキーッ
ウググ
〜〜〜ッ
あわわっ
ワッパーッ
ひ
ひきずり
こまれ
るうーっ
あうっ

銀次おじさん
よけいなまねは
しねえで
くれーっ
アホンダラ!!
おめえが
ひきずり
こまれるのを
だまって
見てろと
いうのけえっ
なんちゅう
気のつええ
ワッパじゃ
これなら
文句
あるめえ
どう
でえ!!
ワッパ
タハーッ
ありがとう
よう
銀次おじさーん
くそったれの
バケモノ
岩魚めっ
こう
なったら
徹底的に
つきあう
ぞーっ

ピーヒョロロー
ドドド
ドド
ドド

ウウッ
おら
ここんな
ことしてて
なんになるだ
…
せ せっかく
左膳岩魚を
かけたと
いうに…
どうして
とりこむ
つもり
なんだ…
あのデカイやつを
ゴボウ抜きに
ひきあげたら
いっぺんに
テグスがきれて
しまうでねえか
ど
どうする
……
こんだ
高い崖の
上から……

ウキギーッ
サンペ
サンペ
ケポーッ
ワ
ワッパ
こ
こなくそっ
!!

うううっ
!!
ああああ……
み見ちゃあおれん……
クッ
クソオ
そ
それにしても
おらあ
うかつだった
なあ…

さ
左膳岩魚を
いかにして
エサに食らい
つかせるか
ばっかり
考えて
いざ
かかったとき
どうやって
とりこむかを
すっかり
わすれてた…
こんだ
高い
足場から
…
ど
どうして
とりこむと
いうんだ

うっ
ワッパーッ
左膳のヤツ
大岩の
エコさ
むかった
ぞーっ
ゴゴゴゴゴ
ヤツにエコさ
もぐられだら
かたい岩かどさ
テグスがすれて
たちまち きれて
しまうぞーっ
横さ
ひけーっ
方向を
そらせろーっ

わ わかってるっ おじさん
そ それよりも いま 問題なのは この高い崖の 上から どうやって あいつを とりこむか なんだーっ
うっ

な なるほど
いわれて みりゃあ てえへんな こっちゃ
おい 一平 聞いたかや

フフフ やっとこ そござ 気がついた けえ
なるほど 夜立谷の怪物 左膳岩魚じゃ もう かれこれ 小一時間は たってるちゅうに ちっともよわった ところが見えん

あんただ バケモノを この岩の上から ひきあげるのは まず ムリじゃろうな…
一平 この重大場面に よくも そんただ おちついて いられるもんだなあ
なんか うめえ方法は ねえのけえっ

方法か…
ねえわけでも
ねえが
手出し
するなと
いわれてるん
じゃろ…
アホノ
そんなこと
いってるバヤイ
で
ねえべ
げんに
目の前て
おめえの
孫が苦戦
してる
ちゅうに
フフ
……
こんの
ヤローッ
わらって
けっかるか
もったい
ぶらねえで
その方法を
教えろ!!
こ…これ
銀次!!
興奮
するなて
かってに
しろ!!
おめえが
これほど
友だちがいの
ねえやつだとは
いまのいまま
知らなかっただ
チョホーッ
銀次…
あいかわらず
血の気が
おおいのう
もうたのまねえ
こうなったら
ワッパとふたりで
さかだちしよう
とも かならず
とりこんで
見せるからなっ
ワッパー
!!

鐵一さんのおとうさんってうわさに聞く以上の大声ね
そうなんだよ……
ワッパーッ
それにあのサンペイサンペイの三平三平くん
おもしろい名まえだけどすごい少年ね

うん……こと釣りにかんしてはメチャクチャにすごいんだ
この谷にきて知りあったんだが釣りのコーチをあの子にやってもらってるんだ
おおっだいぶひいてるなテグスがきれないかなあ
ずいぶん大きそうな魚ね
そりゃあそうさこの夜泣谷はむかしから大岩魚の宝庫だもの
そうね夜泣谷って名まえからしてそういう感じね……

やっぱり
つくるんですか
この谷にダムを…

景色はいいし
水も空気もきれいにすんでるし……
自動車ばっかりでゴミゴミした都会なんかとはダンチね

うん
それがぼくの仕事だからな

でもダムにしちゃうとこの谷がこわれてしまうんでしょう
あなたのおとうさんが反対するのもわかるような気がしますわ

だからおやじはおれの顔を見るとかならずこういうんだ

いやおやじが反対する理由は単純なんだ
この谷で一生のんびりと釣りをしてくらしたいからなんだ
んまあいいわねぇステキじゃないの

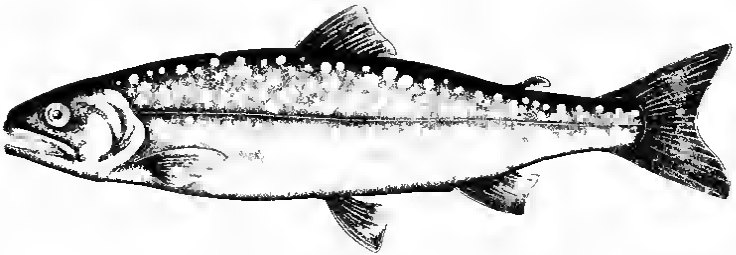
そこに水がある!!
水がある以上
魚には その水に
すむ権利がある!!
きれいな水が
流れていて
魚がたくさん
すんでいるのに
その魚たちを
すめなくする権利が
どこのだれに
あるというのだ
……!!
そこに川があり
魚がすんでいる以上
釣り人には
釣る権利がある!!
……と これが
おやじの
口ぐせさ
ろくすっぽ
学校にもはいらず
炭焼きと釣りしか
能がない
野蛮な
おやじだが
……
いってる
ことは
まったく
正しいのかも
しれないんだ
そうよ
銀一さんの
おとうさんは
けっして
野蛮なんかじゃ
ない
すばらしい
考えだわ
この夜泣谷に
つくろうとしている ダムは
わたしたちの生活には
とっても 役だつものかも
しれないけど……
だからといって
そこにすんでいる お魚の
ことを考えると
……

そうなんだ……
さまざまの
公害のため
動植物
ばかり
じゃなく
人間の生命
さえも むしばまれ
ている 昨今
自然破壊は 極力
さけなければ
ならないのだが……
釣りがしたい
という理由で 自然を
まもろうとする
ケタハズレの人間が
この世の中に
ひとりぐらいはいても
おかしくないわ
あなたの
おとうさんは
そういう
貴重な人なのかも
しれないわ
あたし
銀一さんの
おとうさんの
ような
単純な人
だいすきよ
!?
なにも
理論家ぶって
ものごとをふくざつ
に 考える 必要は
ないわ
明子
!!
銀一さん
あたし
おとうさんと
気が
あいそうよ
どんな
ガンコな
おとうさんでも
きっと うまく
やるわ……
安心して!!
あぁっ
!!

ワッパーッ
だいじょうぶ
けえーっ
ウヒョーッ
クソオ
よわる
どころか
ますます
あばれかたが
はげしく
なるうーっ
ククッ
ふるる…
ふるる…

フェーッ
ウヌヌッ

こうなったら
しようがねえ



ワッパ
左腰岩魚の
とりこみは
おらに
まかせろ
銀次おじさん
いったい
どうするつもり
なんだーっ
きまっとるべ
この鳴神扇さ
とびこんで
ヤツを
ふんづかまえて
あがってくる
までよ
ほんじゃ
いくぞっ
キモ
おおっ
ヒラ

銀次
待てっ!!
一平!!
きゅうに
よびとめて
なんでえ
おらは
いま
空中にいるんだ
ぞーっ!!

これを
つかえ!!
なんでえ
これはーっ

じいちゃん
フフ
どうやら最後に
きたようじゃが
ゆだんするで
ねえぞ 三平

あっ
これは掛けに
つくってた
鮎漁につかう
受け網だなっ
!!
クソオ
一平のやつ
うめえものを
考えやがったな
ありがてえ
……
よーし

ハイ!!
ハイ!!
銀次ーっ
ムリするで
ねえだーっ

そーっといけ
そーっと
もっと右だ
右ーっ!!
ゴタゴタ
ぬかすなーっ
一平ーっ!!
この鳴神岩は
おらの
庄みてえな
もんじゃ
いちいち
さしずせんでも
わかるて
おっ
ああっ

ムッ
いかん
テグスが
!!
ヒュ
ヒュ

三平
やられた
なっ
おぉっ
クッ
じ
じいちゃん
!!
おおっ

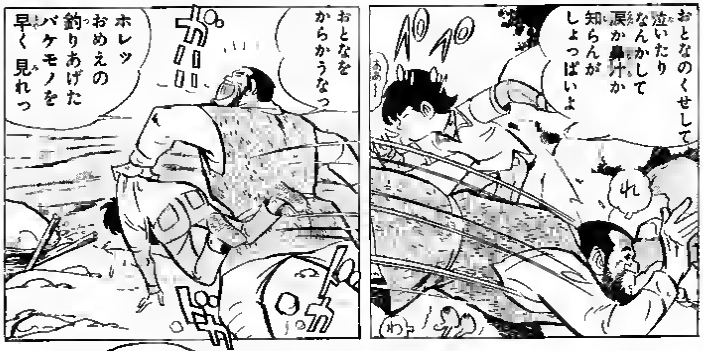
ガシャ

ああ……
ぎ銀次おじさん
……
やったぞーっ
ワッパーッ
やったぞーっ
夜泣谷の
左膳岩魚
つ、ついに、
釣りあげたぞ
しっ

ちゅうせん開始
「ッピ！」
ついに
釣りあげたぞ～～っ！！
ナナナナナナ。

三平
足もとに
気イつけろ
じいちゃん
!!
ウオオーン
オ〜〜〜ン
やった
やった
〜〜〜っ
おじさん
このワッパ
——ッ
くそっ
たれめ
——っ
!?
ドドド

ガキのくせして
よくも やって
くれました
〜〜っ
お おらあ
しこたま
うれしいぞ
〜〜っ
イテテッ
お
おじさん
ヒゲが
いてえじゃ
ねえか


おとなのくせして
泣いたり
なんかして
尻か鼻汁か
知らんが
しょっぱいよ
れ
おとなを
からかうなっ
ホレッ
おめえの
釣りあげた
バケモノを
早く 見れっ

うーん
どうじゃ
こうして 近くで
見ると すごさも
カクベツじゃろ
三平
銀次
おてがら
じゃったなあ
おそいじゃ
ねえか
一平

じいちゃん
銀次おじさん
…おらあ
なまいきに
強がり
いったけど
みんなの協力が
なかったら
いまごろは……

!?
んだから
この岩魚を
釣りあげたのは
ここにいる
三人だなあ

ククッ
こ…このガキあ
……
……

ホホウ
こいつあ すげえや
わしも この年に
なって こんだ
大岩魚を見るの
はじめてじゃ
ノコノコと
あらわれ
おって
な
なにしに
き
きただ

てめえなんか用はねえとっとと……
とっ
!?
ポー
黒沢さーん
これ三平おめえの出るまくじゃねえ……
ワク
銀一さんのおとうさんですね

はじめて
お目に
かかります
わたし
明子と
もうします
…
は
あ
あきこ
…

い…
…
一平
こりゃあ
どういう
こっちゃ
おらあ
キツネか
ムジナに
だまされてるんで
ねえべか
んでも
なけりゃ
こんただ山ン中さ
こんただ
ベッピンが
いるはずねぇ
フフフ
…

銀次…
腰ぬかしたけえ
この
おじょうさんは
キツネでも
ムジナでもねえ
おめぇの
ひとりむすこの
銀一の
嫁さんに
なるひとじゃ…
十年前
おめえとケンカして
家をとび出して
たった ひとりで
東京で苦学して
いまじゃ りっぱな
ダム工事技師に
なった銀一くんが
こんただ
きれいな娘さんを
つれて
おめえに
あいさつにきたのだ

皮肉な
もんよ…
この夜泣谷の
ダム建設を
めぐって
血肉を分けた
じつの親子どうしが
十年ぶりに対面
するなんて…
もっとも
おめえは
銀一くんが 家を
とび出したとき
親子の縁を
きって勘当した
つもりでいる
らしいが
十年という月日は
短いようで
長いものよ
もう
いいじゃ
ねえか
こうして
ガン首
そろえて
きてるんだ
ポン
こころよく
むかえて
やれ
おとう
さん!!
……
……
やい
一平!!

きさまちゅう
やつは
なんちゅう
やつじゃ
銀次(ぎんじ)
こ こ れ
おらに
かくれて
かげで
コソコソ
やりおって
ひとこと
教(おそ)えて
くれたって
いいじゃねえか
クッ

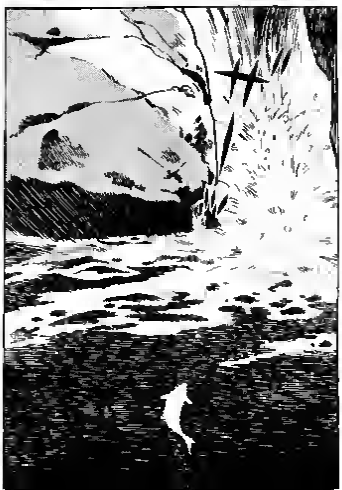
一平(いっぺい)さん
だい
じょうぶ
ですか
フフフ
なんとも
ねえや

はじめてのひとに
こんただ
うすこぎたねえ
ヒゲヅラの
まんまで
わせ(合)って
ちょこっと
うちして(打)くれたら
羽蔵(はぞう)ハカマで
出(だ)むかえたのに
ホーッ
こっぱずかしいて

ウオオ〜〜〜ン
クソオ
クソオ
……

おやじ
……
フフフ
よかったなあ
おめえたち
……
銀次(ぎんじ)が
うれし泣(な)き
してるて

うひょ～～～っ
おらあ びっくらこいたなあ
黒沢さんが銀次おじさんのむすこだなんて
そういえば銀次おじさんの正式な名まえは黒沢銀次っていうんだったなあ
さあ銀次おじさん もうかえしてくれ
シマアせっかく釣ったのにはなしてしまうんですか…
あったりめえよこの谷みてえにすみよいところがほかにあるはずねえべ
フフフ
銀次ーっいつまで泣いてるだ
三平 なにポケーッとしてる左腕鳳魚の魚拓をとるぞーっ



銀次の小屋で五人は夜をあかし翌朝——一平と三平は夜泣谷にわかれをつげた

よかったな じいちゃん……
うん

んだども ダムのほうは どうなるべ
やっぱし できるんで ねえべか

ウキキーッ サンペ サンペ
おお 兄弟

そいつあ わからねえ
ただ 銀次が ああやって 目を光らせて がんばって 以上 魚族保護と 自然破壊の点から もう一度検討する 必要は あるべなあ……
ダム
反対
賛成

夜泣谷の怪物の巻　おわり

あとがき

矢口高雄

夜は眠るためにある……という言葉は、人間のためのものだろう。事実、自然界はかたときも眠ることはない。森閑たる山中の闇も、ひとたび耳をすませば、そのざわめきは真昼以上のものがある。餌を求めてさまよう一匹のイタチ。そのイタチの気配に、身の危険を察知したキジの夫婦が、夜陰をひきさいて飛びたった。鳥は夜目がきかない。だから、それゆえに悲鳴もけたたましく、深い谷間に響きわたる。と、それに呼応するかのように、谷間の野猿の群れがいっせいにわめきだした。その声は、あたかも谷間が夜泣きしているごとくに……。こんなイメージで描きはじめたのが、本編「夜泣谷の怪物」だった。

ボクは、秋田県の奥羽山脈の山あいの村に生まれ育った。村のまんなかを一本の渓流が流れていて、そこはすでに岩魚域だった。だから、岩魚はガキのころから常に身近な存在であり、最も親しんだ魚の一つである。夏の夕暮れに橋の上に立つ。川面には、さかんに羽化するカゲロウの群れ。村ではカゲロウのことを、アガリサガリと呼んでいた。はばたいて、ある高さまで上昇すると、ピタリと

ばたきをやめ、そのままフンワリと気流にまかせて降下する。水面スレスレに、時には水面にふれるものさえいるが、そこまで降下したら再び羽根をうちふって上昇する。こんな上がり・下がりをくりかえすことから、その名がついたのだろう。無数のカゲロウが入り乱れた上がり下がりをくりかえす光景に、ボクはしばし時を忘れた。

突如、ゴボンと岩影から黒い魚体が踊りでた。背にはくっきりとちりばめられた白い斑点。まるでスロービデオをみるように、いまでもその光景が想いうかぶ。踊り上がった魚体は、エラをめいっぱいにはり、大口を閉じた瞬間には二、三匹のカゲロウがおさめられていた。

小学校五年生の夏だったと思う。親友の加瀬谷正治くんとつれだって川遊びをしていた。さもない、裏山から流れでる渓流だったが、そこは子どものボクらにはヘソぐらいの水深だった。それを発見したのはボクだった。ヘソぐらいの深さの水底に、一メートルちかい魚体がよこたわっていたのである。せせらぎが織りなす波紋が迷彩となって、時には二メートルもの大魚にものびたり、斑点もあるかないかはさだかでない。立ちつくした二人は、まもなく捕獲作戦にのりだしたことはいうまでもない。しかし、遊びの最中とあって、網もヤスももちあわせていない。じゃあ、どうする？

「ケツかけるべ！」正治がいった。大魚に馬乗りになっておさえこもうというのが、正治の作戦だった。今にして思えば、なんとも幼稚な発想だが、当時のボクらにはそれ以上のアイディアがうかばず、ただちに行動を開始した。ソッとパンツをぬぎすて、二人ともフリチンになり静かに魚影に接近した。ボクはチビッコだったが、正治はクラスでも大柄なほうで、必然的に彼がケツをかける役目と

なった。ボクの役目は、そのあとにしたがい、正治がケツでおさえこむと同時に飛びこみ、シッポをつかまえるてはずだった。

二メートルちかくに接近した。魚体はあいかわらず悠然と水底に横たわったままである。呼吸をはからい正治が飛びこんだ。パシュッとしぶきを上げたかと思うと、フリチンの股を大きくひらいて空中にまい上がり、大魚めがけて飛びこんだ。もちろんボクも、ほとんど同時に正治のケツをめがけて頭から……。だがつぎの瞬間、ボクの手はそいつのうちわのようなシッポにふれたと思ったとたん、二人がつくった大げさな波紋の合間を悠々と消えてゆく魚影をみおくる結果となった。正治は飛びこんだ瞬間、水を飲んだらしく、さかんにむせかえった。気をとりなおした正治は、興奮してこういった。

「チンポのフクロを、ニョロリとこすっていきやがった……！」

あのときの魚影は、いったい何だったろう。今でも正治と会うたびにその話をする。五、六十センチの大岩魚だったろうというのが、今の二人の一致した見解だが、からだの小さかった当時のボクらには、一メートルをこす大魚にみえた。本編に登場する〝左膳岩魚〟は、そんな少年の日の体験の産物である。

もう一つ、本編をふりかえっておもしろいことに気づいた。それは、左膳岩魚を攻めるために物干し竿と称する五間（約九メートル）の長竿を使用するくだりである。これを描いていた当時のボクは、じつは、リールの存在は知っていたが、もってもいなかったし、もちろん一度もつかったことが

なかった。ルアーやフライが一般的になった今日ならば、たちまちドラマはその方向に進むだろうが、当時はまったく考えもおよばないことだった。しかし、ものは考えようである。知らなかったことが、かえって別のドラマを生みだし、それが奇想天外な方向へ進んで、思わぬドラマ進行をうながす結果となったということである。もしこの時点で三平くんが、小器用にルアーやフライロッドを駆使する釣り人だったならば、はたして「釣りキチ三平」なる作品が、これほど長期にわたり、しかも次々と新しいジャンルにチャレンジするスタイルになっていったかは疑問である。

漫画とはそういうものかもしれない。作者があまりにもその世界に精通するがゆえに、かえって現実べったりになり、ドラマとしての飛躍に欠ける例がよくある。もちろん、知らないということはよいことではないが、現実べったりの飛躍のない漫画ほどおもしろくないものはない。と、いいながら反省しきりのきょうこのごろのボクでもある。

（一九八五・八・一七）

あなたは、この本を読んで、どんな感想をおもちになりましたか。

編集部では、この本についての読者のみなさまのご意見をおまちしています。

このつぎには、どんな作家のどんな漫画を読みたいと、お考えですか。「KCスペシャル」にしてほしいと思う作品がありましたら、「読後の感想」とあわせて、左記あてに、どしどしお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
〈郵便番号一一二―〇一〉
『講談社コミックス』編集部
KCスペシャル係

KCスペシャル―159
釣りキチ三平―第三集
一九八五年九月六日第一刷発行
一九九四年十二月五日第十四刷発行
定価はカバーに表示してあります。
著者 矢口高雄
発行者 山野勝
発行所 株式会社講談社
東京都文京区音羽二―一二―二一
郵便番号一一二―〇一
電話 編集部(〇三)五三九五―三四五九
販売部(〇三)五三九五―三六〇八
印刷所 廣済堂印刷株式会社
製本所 誠和製本株式会社
©矢口高雄 一九八五年
落丁本・乱丁本は、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えします。なお、この本についてのお問い合わせは、週刊少年マガジン編集部宛にお願いいたします。
本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。
ISBN4-06-101159-6 (マ) Printed in Japan